

令和7年 第10回

四日市市教育委員会会議案

関係資料

日時 令和7年10月15日 午前9時30分～

場所 四日市市役所 9階 教育委員会室

令和7年 第10回 教育委員会会議 議事

○協 議

令和7年度の教育委員会における点検及び評価について…………… P 3／84

四日市市教育大綱の改訂について…………… 別冊

○報 告

令和7年9月定例会議会の報告について…………… P 7／84

令和7年度全国学力・学習状況調査結果の分析について…………… P43／84

本市におけるいじめ事案について…………… 別冊

令和7年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に 学識経験者の知見の活用を図るための実施計画（案）

令和7年10月
四日市市教育委員会

1. 目的

(1) 教育委員会が、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）の一部改正に伴う「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」を実施するにあたり、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図るという目的に資する。

(2) 本市の学校評価のシステム全体を検証するとともに、教育委員会が学校に対して行う施策の改善に資する。

◆ (1)については、地教行法に以下のように規定されている。

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

◆ (2)については、本実施計画では、本市の学校評価システムの根幹となる各学校の学校評価のあり方について意見を求めるとともに、各学校が行っている学校評価を教育委員会が行う学校への支援にどのようにつなげていくのかについての意見交換を行う。

2. 四日市市教育施策評価委員

(1) 委員の委嘱

- ・ 教育委員会が2名程度の委員を委嘱する。
- ・ 委員は、教育施策及び学校経営・教育活動について、専門的・客観的な立場で評価することができ、教育委員会及び学校の運営に直接関係がない者とする。

(2) 役割

- ① 四日市市学校教育ビジョンを基盤とした本市の教育施策全体について、抽出した学校や関係施設の訪問、各学校から提出された評価に関する文書や教育施策を取りまとめた学校教育白書等を参照することにより、客観的な立場から、専門的な提言・助言を行う。
- ② 抽出した学校の訪問や各学校から提出された評価に関する文書から、各学校の取組を専門的・客観的な立場から評価することを通して、教育委員会の方針・施策が学校現場に浸透し生かされているかどうかを検証する。
- ③ 上記に係る報告書を各委員が教育委員会に提出する。

3. 令和7年度施策評価実施計画

実施日程

教育委員会	教育施策評価委員	市議会報告
10月 重点評価項目選定 継続評価項目確認		
11月 各評価項目決定		
3月 視察報告	11～2月 視察・施策評価※	
5月	執行状況調査（事務局との懇談）	
7月	教育懇談会兼施策評価委員会（点検・評価の総括）	
8月 報告書作成		▶ 報告書提出

※学校や施設等の視察については、重点評価項目に合わせて1～2か所（校）とする。

4. 本年度の評価項目

四日市市学校教育ビジョンは、学校教育がめざす子どもの姿を明らかにするとともに、その実現に向けた本市の教育の方向性を示すため、教育基本法第17条2項に基づく、教育振興のための施策に関する基本的な計画として策定している。その基本理念には、四日市が目指す子どもの姿「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」を掲げ、子どもたちに「生きる力」「共に生きる力」の育成に向けた取組を推進するため、令和4年1月に策定したものである。令和4年度から令和8年度までの5年間の施策内容が記載されており、令和6年度においては計画期間の中間まとめとする。

令和7年度の施策評価項目については、第4次四日市市学校教育ビジョンに示された5つの基本目標に基づいた各施策の取組状況を踏まえるとともに、教育を取り巻くこれまでの課題を整理し、新たな課題に対応するために重要となる重点評価項目を選定及び評価を行う。また、施策の重点としている「新教育プログラムの着実な実践」「ICTの効果的な活用」「学校の組織力向上」については、継続評価項目として評価を行うことで、第4次四日市市学校教育ビジョンにおける施策の推進につなげていきたい。評価にあたっては、学校等の視察や懇談等を行い、学校現場等における施策の具体的な実施状況を把握するとともに、その成果や課題について検証する。

○施策評価重点項目

（案1）英語コミュニケーション能力の育成（基本目標1 確かな学力の定着）

【提案理由】 社会の急速なグローバル化の進展の中で、外国語を用いたコミュニケーションを行う機会が格段に増えており、英語力の一層の充実を図る必要がある。

本市では、就学前から英語に出会い、「聞く」「読む」「話す（発表・やり取り）」「書く」の4技能5領域を統合した言語活動を通して、発達段階に応じた英語コミュニケーション能力の育成を図り、自分の思いや考えを英語で伝える力を育成している。それらを高めていくため、全小中学校に配置している英語指導員を効果的に活用しながら英語教育を実施している現状の取組について評価し、今後の施策の充実に向けて検証する必要がある。

（案２）体力・運動能力の向上（基本目標２ ころとからだの健全な育成）

【提案理由】 本市では、「体を動かす楽しさ、心地よさを味わえる」「各種の運動を適切に行うことを通して様々な基本的な体の動きを身に付け、結果として体力の向上を図ることができる」など、どの子ども運動の特性に触れながら達成感や成就感が感じられるよう授業づくり、日常的に運動したくなる環境づくりの推進を図っている。

小学校では、子どもたちの健康の保持増進と体力向上につなげ、運動好きの子どもたちを育てていくために表現運動領域のリズムダンスにおいて、子どもたちの発達段階に応じた四日市独自のダンスプログラムを開発し、取り組み始めている。それら現状を踏まえて評価・検証する必要がある。

（案３）不登校児童生徒への支援（基本目標４ 全ての子どもの能力を伸ばす教育の実現）

【提案理由】 不登校児童生徒への支援は、学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、児童生徒自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指している。本市では、不登校児童生徒が年々増加する中で、児童生徒が安心して教育を受けられる環境を整えるとともに、不登校児童生徒に対して、登校サポートセンターやフリースクール、校内ふれあい教室等、多様で適切な教育機会を活用した社会的自立への支援を行っている。

令和７年度は、中学校校内ふれあい教室の設置を完了し、小学校に校内ふれあいモデル校を設置した。不登校となる要因・背景は多様であるため、個々の状況に応じた指導方法や支援体制の工夫改善が一層必要となることから、現状の取組について評価し、今後の施策の充実に向けて検討する必要がある。

（案４）日本語指導が必要な子どもへの指導の充実（基本目標４ 全ての子どもの能力を伸ばす教育の実現）

【提案理由】 本市においては、外国人児童生徒は増加傾向にあり、多言語化と分散化が進んでいる状況である。また、日本語指導が必要な外国人児童生徒においても年々増加しており、多くの学校で、初期日本語指導を必要としている児童生徒、生活言語は習得できているものの、学習言語が十分に習得できていない児童生徒、自身の進路決定に向けて、保護者とも連携しながら支援を要する児童生徒等、様々な状況にある。

そのため、外国人児童生徒が日本語力や学力を身に付け、主体的に進路を切り拓くことができるよう、日本語の初期適応指導、学力・進路保障及び教育相談等の支援体制の充実を図っており、現状の取組を踏まえて評価・検証する必要がある。

５．点検・評価の方針（５か年計画）

令和４年度 施策の進捗状況の評価

令和５年度 施策の進捗状況の評価

令和６年度 施策の進捗状況の評価

令和７年度 施策の進捗状況の評価及び第４次四日市市学校教育ビジョン総括に向けた整理

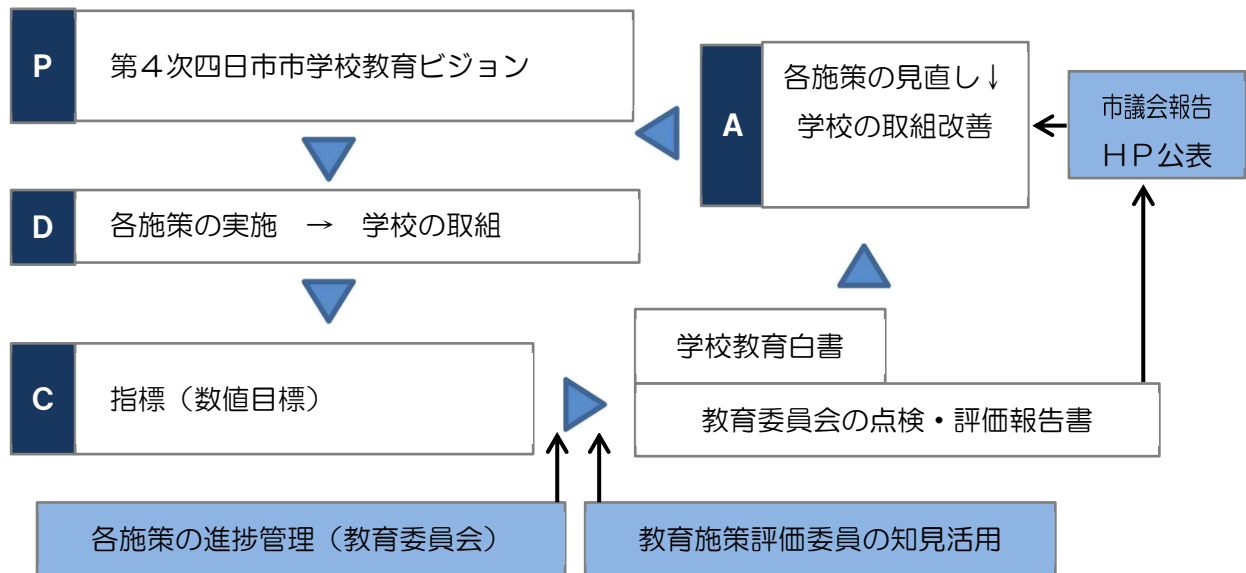
令和８年度 第４次四日市市学校教育ビジョン総括（第５次四日市市学校教育ビジョン（仮）策定年度）

本市の教育施策及び学校の評価システム

(第4次四日市市学校教育ビジョンP63より抜粋)

本市教育委員会では、平成21年度から四日市市教育施策評価委員を委嘱し、専門的・客観的な立場からの提言や助言を基に、本市学校教育ビジョンを基盤とした教育施策及び学校評価システムについて、点検及び評価を進めています。学校教育ビジョンは、本市学校教育の根幹として位置付けられるものであることから、ビジョンの進捗管理とともに、成果指標に基づく評価を実施します。

また、基本目標の各施策については、具体的な取組指標に基づき、取組の進捗管理及び評価をするとともに、その結果については、「教育委員会の点検・評価報告書」及び「学校教育白書」で市議会に報告するとともに、広く市民に周知します。



＜四日市市学校評価システム＞

◆本市では、四日市市学校教育ビジョンを受けて、各学校が「学校づくりビジョン」を策定し、学校経営を行っています。

◆学校評価に関して、各学校から教育委員会へ、以下の報告書が提出されます。

①自己評価書

- ・学校づくりビジョンの重点目標に対する評価、学校経営に対する評価等

②学校関係者評価書

- ・四日市版コミュニティスクール運営協議会による評価

◆学校教育白書は、四日市市学校教育ビジョンの諸施策の評価資料として位置付けています。これに基づき、教育委員会の点検・評価報告書を作成しています。

※PDCAサイクル

= Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の業務改善システム

「学校づくりビジョン」は、教師が連携し、各教科等の連携を図りながら行う授業づくりやよりよい学校教育を目指す地域人材の活用などをカリキュラムに位置付け、その実施状況を評価し、改善を図るといったカリキュラム・マネジメントに基づき、策定されます。

令和 7 年 9 月市議会
定例月議会
本会議審議等内容報告

四日市市教育委員会

令和7年9月議会(本会議)の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
水谷 一未 (市民目線の会)	<p>○小・中学校の学校給食無償化の早期実現について</p> <p>①要望書についての市の考えについて伺いたい。また、今年度3学期から実施した場合の費用はどのくらいか。その場合でも物価高騰対応臨時交付金を充てられると考えてよいのか。</p> <p>②学校給食無償化を実施している一部の自治体の給食の質の低下について報道もあったが四日市市ではどうか。</p>	<p>(副教育長)</p> <p>①「国の施策を待たず今年度途中から給食無償化を実施すること」については、令和7年6月議会答弁のとおり、国による具体的方針が示されていない中で本市として学校給食無償化の時期や対象、手法等を決めていく段階ではないと考えており、国からは未だ具体的な方針は示されていない。</p> <p>一方で本市では物価高騰が続く中、令和5年度から食材料費の物価高騰分を公費で負担している。学校給食費は9年前から据え置き保護者負担が増えないよう努めており、令和5年度からは実質給食費の一部を無償化しているといえる。さらに全額を無償化することについては引き続き国の動向を注視し、市長部局で実施する子育て支援策と併せて意義や効果、実施時期、将来の負担等慎重に検討していきたいと考える。</p> <p>「小学校と中学校同時に無償化を実施すること」については、小学校と同様に国による具体的な方針が示されていないため、時期や対象、手法等を決めていく段階ではないと考える。</p> <p>本年度3学期に学校給食に必要となる食材料費は約3億6千万円、その内保護者負担の給食費は約2億9千万円と見込む。</p> <p>令和7年度の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は、追加配分を含め2億6447万9千円が交付されており、大部分の2億422万3千円を学校給食の物価上昇分に充当予定である。令和8年度においては国からの交付金の有無についても示されていない状況である。</p> <p>②国が示す栄養価基準値に極力近くなるよう努めており、令和6年度の各栄養素の平均値は国の基準をほぼ満たしており、全国平均と比べても必要な栄養素を維持できている。物価高騰の中、食材料費の一部の公費負担とともに、給食の質を担保するために献立作成の際には、予定価格を勘案しながら栄養価が近い野菜の選定したりデザート回数を減らすなど工夫をしている。</p> <p>一方で、給食は食育の教材としても大きな役割を果たしているため、安価な食材の使用だけでなく、様々な食材に触れることができるよう、多様な食材を適切に組み合わせるとともに地産地消にも取り組んでいる。</p> <p>引き続き給食の質を担保し、安全・安心で体においしい給食を実施できるよう努めていく。</p>

令和7年9月議会（本会議）の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
<p>太田 紀子 (共産党)</p>	<p>○小中学校の熱中症対策にウォータークーラー設置を</p> <p>①市内小中学校のウォータークーラーの設置状況はどうか。また、現在設置されているウォータークーラーが故障し使用できない場合は撤去されるのか、修理は検討しないのか。</p> <p>②ウォータークーラーが設置されていない学校では、水筒が空になった場合どのように対応しているのか。</p> <p>③他自治体では熱中症対策の観点からウォータークーラーの設置が進められているが本市では検討がされないのか。</p> <p>④近年の酷暑を踏まえ、子どもの教育環境を第一に、市の責任で前向きな検討を求める。 (意見)</p>	<p>(副教育長)</p> <p>①令和7年9月1日現在ウォータークーラーを設置している学校は小学校では設置しているところはなく、中学校では20校である。設置の経緯は教育委員会が直接設置したものではなく、学校が維持管理できるものに限って、PTAや地域の外部団体などからの寄附を受け設置されたものである。したがって、設置状況は学校ごとに異なり、教育委員会は修理等の維持管理は行っていない。</p> <p>②本市では学識経験者の専門的な知見を取り入れ毎年改訂している「学校における熱中症予防対策マニュアル」に基づき熱中症対策を行っている。水分補給は重要な対策の一つとして、こまめな水分補給の必要性や下校前の水筒内の水分の確認等について指導している。水筒が空になった場合には衛生面での指導と併せて水道水を補充して飲むことを伝えている。普段の学校生活における常温の水道水での水分補給については学識経験者の意見を踏まえて熱中症予防として有効であると捉えている。</p> <p>③本市の熱中症対策としては、各校に配備の複数の熱中症計により活動前の暑さ指数を測定し、安全な活動実施の判断を行っている。各教室には空調設備を完備し体温調節を助けることで暑さによる体への負担軽減を図っている。また、熱中症が疑われる際など体温を迅速に下げる必要がある場合に備え、冷やした経口補水液や氷を常備している。さらに熱中症対策費として配当した予算により冷却シート等の購入など各校の実情に応じた対策を講じている。</p> <p>熱中症対策として給水設備の設置を進めている自治体があることは承知しているが、課題も挙げられている。本市のウォータークーラー設置については、学校規模に応じた台数を設置する必要があることや、新たな設備導入に伴う維持管理のための職員の負担やコストの面で課題があるため設置は難しいと考えている。</p> <p>今後も熱中症対策の一層の充実に努めていく。</p>

令和7年9月議会(本会議)の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	<p>○行政による学校問題解決のための支援体制の構築について</p> <p>①「学校問題解決支援コーディネーター」を中心としたさまざまな専門家が参画する支援体制の構築を進めているが、取組状況を確認したい。</p> <p>②天理市は「ホットステーション」を設置し、あらゆる案件に対応している。本市も、ADRIに至らない段階での相談機能を充実させ、教員の働き方改革を推進すべきでないか。</p> <p>③天理市では、学校管理職OBの拡充や保育園・幼稚園長経験者の採用、心理士の活用 of 充実 に力を入れている。本市の事業拡充に対する方針を確認したい。</p> <p>④次期教育大綱への位置づけについてどのように考えているのか。</p> <p>⑤行政による学校問題解決のための支援体制について、今後さらに取組をすすめてほしい。(意見)</p>	<p>(教育長)</p> <p>①令和6年度から「行政型学校ADR」を導入した。弁護士や臨床心理士から助言を受けて対応している。令和6年度は約200件の相談のうち6件を困難事案とし、うち1件をADRで解決した。</p> <p>②今年度、組織再編に伴い、学校管理職OBを「学校問題解決支援コーディネーター」として位置付けた。児童生徒や保護者から直接相談を受け付けられるようにすることで、教員の負担軽減や働き方改革の推進につながると考えている。</p> <p>③本市の相談窓口には、いじめ、発達課題、不登校など、様々な分野で児童生徒・保護者の相談に応じる、計11名の学校管理職OBが常駐している。また学校ADR委員は、弁護士や臨床心理士、精神科医、学識経験者など多種多様な専門家で構成されている。今年度は、子どもの人権を守り子どもが自分の考えや意見を表明できるアドボケイトや、学校管理職OBを1名ずつ加え、体制を強化している。さらに、事案によっては、保育幼稚園課に所属する園長経験者とも連携して対応している。</p> <p>④次期教育大綱については、こどもまんなか社会を実現するために、子どもを最優先し、子どもの意見を尊重した取組みを軸として位置付け、総合教育会議の場で議論していく。</p>

令和7年9月議会（本会議）の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
森川 慎 (政友クラブ)	<p>○戦後80年、戦争の実相をどのように伝えていくかについて</p> <p>①戦後80年が経過し、戦争体験者も減り続ける中、市として戦争の実相を子どもたちに伝えるため、どのような取り組みをしているのか。</p>	<p>(副教育長)</p> <p>①博物館では毎年、四日市空襲と戦時下のくらし展を開催し、防空壕のジオラマ等の展示を通じ、当時の様子を伝えている。また、空襲体験者から直接話を聞く機会を設け、平和の尊さを伝える取り組みも行っている。</p>
	<p>○戦後80年、戦争の実相をどのように伝えていくかについて</p> <p>①教育現場で、子どもたちに平和や戦争について学ぶ機会はどうように確保され実施されているか。</p> <p>②昔と比べて戦争について学ぶ機会は減っていないか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>①小中学校ともに社会科の時間に戦争について学んでいる。小学校6年生では、総合的な学習の時間を活用して、地域の戦争体験者から話を聞く活動などにより戦争についてより深く考える学習の機会をもっている学校もある。「のびゆく四日市」にて子ども自身が学ぶことができるようにもしている。中学校では、修学旅行で広島を訪れ、平和に関する講話を聞いて意識を高める取り組みを行っている学校もある。小中学校ともに道徳教材をもとに、生命の尊さや平和な社会を守るためにできることを考え合う授業を行っている。今後も継続していく。</p> <p>②教科学習の中でしっかりと取り組んでいる。今後も継続して指導していく。</p>

令和7年9月議会（本会議）の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
小田 あけみ (フューチャー 四日市)	<p>○教員不足に苦しむ教育現場に、市ができることは？</p> <p>①当市においてそれほどまでに教員の数が不足しているのか。</p> <p>②教員採用増が期待できない今、市でできることはないのか。</p> <p>③学校業務アシスタントやスクールサポートスタッフの業務内容はどのようなものか。</p> <p>④非常勤講師や教員OBの人数はどのくらいか。また担任も受け持つことができるのか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>①全国的に教員志願者の減少の影響により年度当初から欠員が生じる自治体があるなど教員の安定的な確保が課題となっている。本市においては年度当初に学級担任を受け持つ教員は確保できたが、講師も含まれており、実際には担任業務を担える正規教員に限られている状況である。病気休暇等で長期間不在となる教員の代替として配置される常勤講師が講師不足により確保できない学校もあり、令和7年9月1日時点で小学校7校、中学校3校となっていることから、非常勤講師を配置し、学校では教員の担当教科の調整などの対応を行うことで子どもたちの学習に支障がでないよう努めている。</p> <p>②学校では教員だけでなく、学習指導員や外国人児童生徒への日本語指導等を行う適応指導員、特別支援学級介助員、特別教育支援員、医療的ケアサポーターのほか、専門的な知見をもつ人材としてスクールカウンセラーや学校図書館司書、部活動指導員などさまざまな職種の方が連携しながら学校を支えている。また、教員が本来の教育活動に専念できる環境づくりと働き方改革の推進を目的として、令和元年度から市独自で全校に学校業務アシスタントを配置、令和2年9月からは県からスクールサポートスタッフが全校に配置され、現在2名体制で教員の事務作業等に対する業務支援を行っている。</p> <p>③教員が本来の教育活動に集中できるよう、印刷業務、データ入力、資料整理等の事務作業のほか、授業準備の補助、備品や消耗品の整理、子どもたちの制作した作品の展示など、学校ごとの実情やニーズに応じて柔軟かつ多様な業務を担っている。</p> <p>④非常勤講師は令和7年9月1日現在小中学校合わせて262名を配置し、主に授業を担当している。かつて正規職員として勤務していた元教諭は、常勤講師として22名、非常勤講師として123名の小中学校合わせて合計145名が指導にあたっている。常勤講師は担任を受け持つことが可能であり、現在12名の元教諭が担任業務を行っている。定年退職後の元教諭は長年にわたる豊富な指導経験と教員的知見を有しており、学校の実情を理解しているため心強い存在であるが、一方で健康面や体力面、家庭の事情などから、時間的制約や身体的負担の少ない非常勤講師を望まれる傾向がある。</p>

令和7年9月議会（本会議）の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
小田 あけみ (フューチャー 四日市)	<p>⑤特別支援教育支援員は各校に何人くらい配置されているのか。</p> <p>⑥教員不足による教員の負担軽減は教員以外のスタッフで補うことと、学校自体を変えていくことの両輪で考える必要がある。(意見)</p>	<p>(教育長)</p> <p>⑤特別支援学級に在籍しないものの教員による支援が必要な子どもたちへの対応は増えているため、本市では特別支援教育支援員を一律の人数ではなく各校の児童生徒数や支援の必要性など実情に応じて柔軟に配置することとし、令和7年9月1日現在、小中学校合わせて45名を配置している。</p> <p>具体的な業務としては、授業中に集中が難しい子どもへの声かけや、日常生活の中での困りごとへの対応等個々の状況に応じた学習面や生活面での支援を行っている。こうした支援は、教員が授業準備や学級運営に集中できる時間の確保や子どもたちにとっての安心感につながり、学習環境の安定や集団生活への適応を促す等教育的効果もあることから今後も適正な配置に努めていく。</p>
辻 裕登 (新風創志会)	<p>○夏休みのこどもの預け先</p> <p>①余裕教室がない状態でも、学童保育所が学校施設を利用することは可能か。</p> <p>②教育委員会からこういう活用はできないかという提案がほしい。(意見)</p>	<p>(副教育長)</p> <p>①本市においては、令和3年3月策定の「四日市市 市立小中学校における余裕教室等活用方針」及び「四日市市余裕教室等活用におけるガイドライン」に基づき、校舎や学校敷地の一部を学童保育所に利用いただいている。</p> <p>一方、余裕教室がない場合は、学校施設開放事業での利用や、夏休み中の一時使用など、学校教育活動に支障のない範囲であれば、教室や体育施設を学童保育所に利用いただける場合もあるので、まずは各学校に相談いただきたい。</p>

令和7年9月議会（本会議）の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	<p>○外国人児童・生徒への教育支援について</p> <p>①市として、外国にルーツを持つ児童・生徒の在籍状況をどのように把握しているのか。また、適応指導員の配置状況や日本語指導が必要な児童・生徒への学習支援など、現在どのような取り組みがなされているのか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>①日本語の習得状況なども含めた在籍状況の調査を年2回行っている。来日して間もない日本語指導が必要な児童生徒への学習支援の場として、初期適応指導教室「いずみ」、拠点校、居住区の学校の3通りを用意し、日本語での読み書きや会話の習得、学校生活への適応などの支援や指導を行っている。適応指導員は40名を雇用しており、小学校21校、中学校7校に派遣し、日常生活の言葉の習得や、集団の中での友だちとの関わり方について支援をしている。適応指導員は文書の翻訳や保護者等への通訳支援も行っている。進路選択の支援として、進学ガイダンス「学校へ行こう」、キャリアデザイン講座を行い、就学支援としてプレスクールを実施している。</p>
諸岡 覚 (新風創志会)	<p>○本市の芸術に関する認識について</p> <p>①市内学校現場における裸婦像等の設置の実態はどうなっているか。</p> <p>②学校教育における裸婦像等の取り扱いについてはどうなっているか。</p> <p>③児童生徒から、四日市市にある裸婦像について聞かれたらどう答えるか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>①市内の中学校3校で、備品として美術準備室に保管されており、現在は授業等で活用している学校はない。</p> <p>②美術科の教科書においては、裸体像の写真が美術史年表の中で掲載されている。各時代の芸術を代表する存在として紹介されており、資料として授業で取り上げることがある。また、裸体描写を含む絵画も紹介されており、芸術表現の多様性に触れることができるように、授業で活用している。このように、美術教育の中で、芸術を学んでいくための教材として取り上げられている。</p> <p>③子どもの気持ちを受け止めた上で、裸婦像の美や平和の象徴として指導していく。</p>

令和7年9月議会 付託議案の質問質疑に対する答弁要旨
 ◎議案第50号 動産の取得について
 ー通信最適化システム構築(レイヤ3スイッチ)機器ー

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	<p>①今まであった2つのスイッチに追加をするということか。</p> <p>②現状では、通信の際にデータがパンクしていた状態なのか。</p> <p>③60個ということは、どこかの学校に2個入るのか。</p> <p>④金額は妥当なものか。</p> <p>⑤機器導入後のメンテナンスも契約しているのか。</p>	<p>(教育推進課長)</p> <p>①今まではレイヤ2という機器が入っていた。ここにさらにレイヤ3を追加することで、通信情報を整理してくれて、通信の効率があがる、通信が速くなるものである。</p> <p>②今は動画などを全校でみると止まったりするが、レイヤ3を入れることでスムーズになる。</p> <p>③各学校は1個。残りの1個は事務局やセンターで動作確認などをするためのもの。</p> <p>④指名競争入札であるため、妥当な契約である。</p> <p>⑤そのとおりである。</p>
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	<p>①他市町の先進事例は参考にしているのか。</p>	<p>(教育推進課長)</p> <p>①他市町の事例を実際に見に行っていない。インターネットなどの情報を参考にして、製品の情報を得て、1校にテスト導入した。</p> <p>(教育監)</p> <p>①文部科学省からネット環境がよくない場合は改善するように指示がある。当初はレイヤ2で対応できたが、データ量が大きくなるなど環境が変わってきた。機器はある程度決まっている。それを競争入札で2者応札があつて、落札したのがCTY。国から3分の1の補助がある。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>①サイバーネット攻撃に対応できるのか。</p>	<p>(教育推進課長)</p> <p>①あくまでも通信の最適化のための機器であり、サイバーネット・セキュリティに寄与する機能のものではない。</p>
山田 知美 (新風創志会)	<p>①レイヤ3になったときの外部のデータセンターを介してとはどういうことか。</p> <p>②テストした学校の規模は。</p>	<p>(教育推進課長)</p> <p>①今までプロジェクタやプリンタに出力するときのデータがすべてデータセンターに行っていたが、レイヤ3を入れることで、データセンターに行かずに直接校内で折り返して、プロジェクタやプリンタにデータが送られる、通信の交通整理の役割である。</p> <p>②中規模の中学校である。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	<p>○四日市市奨学金について</p> <p>①四日市市奨学金の決算額は6504万4000円に対し、歳入はどのくらいか。</p> <p>②参院選の際、全国的に意見を聞いたところ、若い世代は奨学金の返還支援を国の政策として求めている。四日市市奨学金は元々半分が給付、残る半分も要件を満たせば免除となり、進学や一定の市内在住につながっているが、ほかにも奨学金制度は多くあり、優秀な人材を獲得する観点からも奨学金の返還支援を検討してもらいたい。(意見)</p>	<p>(教育総務課総務GL)</p> <p>①令和6年度の歳入額は25万5000円である。返還対象者は39名だったが、このうち28名は市内在住で返還免除となった。</p>
中川 雅晶 (公明党)	<p>○英検IBAの実施について</p> <p>①英検IBAの結果についてどのように評価しているのか。</p> <p>②英検の受験を促進する予定はないのか。</p> <p>③本市における生徒の英検の取得状況は把握しているのか。</p> <p>④希望する生徒の英検の受験に対する促進、支援を検討してほしい。(意見)</p>	<p>(教育推進課長)</p> <p>①卒業時点での各教員の見立てでは、英検3級レベル相当の生徒が57.4%であった。今後は60%を超えるように指導していきたい。</p> <p>②現在はまず、英検IBAの活用を進めており、英検などの個人の資格取得に補助をすることは考えていないが、英検の結果が高校受験にどのように利用されているかなどの情報について収集に努めたい。</p> <p>③今のところ、英検の合格者の状況を確認していないが、把握することを検討したい。</p>
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	<p>○民間プール施設における児童の着替えについて</p> <p>①民間プール施設では、更衣室など子どもの安全を守るという点で注意していただきたい。これからも事業として良い結果が出るようにしていただきたい。(意見)</p>	

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	<p>○新教育プログラム推進事業(キャリア形成)について</p> <p>①キャリア・パスポートにかかった費用の内訳を確認したい。</p> <p>②キャリア・パスポート推進校での実践の成果や課題は何か。</p> <p>③職場体験学習の実施先の業態別バランスについて、年度によって偏りがあるのか、その傾向性はどうか。</p> <p>④職場体験学習の選択肢を広げるために、地域外の事業所や多様な業態も選択できるよう、教育委員会や学校で工夫すべきではないか。</p> <p>⑤ゲストティーチャーを招いてのプレ社会人セミナーについて、教えてほしい。</p> <p>⑥プレ社会人セミナーは非常に重要な取組であると思う。また、実際の職場体験を通じて子どもたちが苦手なことを乗り越えるという経験は、次のステップへの自信につながるため、キャリア形成事業全体のさらなる工夫を期待している。(意見)</p>	<p>(教育推進課長)</p> <p>①キャリア・パスポートの活用に104万5000円。内訳は印刷代と子どもたちが使用するファイルとで約半分ずつを支出した。</p> <p>②推進校には先進校の視察をするなどの予算を配分しており、研究成果は研修会などで発表している。</p> <p>③職場体験学習は学校ごとに地域等の特色があるため、特に教育委員会がバランスをすることはなく、それぞれの学校に任せている。</p> <p>④最近の職場体験学習の実施先は多様化しており、生徒たちが自分の興味や関心に基づいて選ぶことが可能となっている。特に教育委員会が事業所リストを作成しているわけではないので、地域性は出てくる。</p> <p>⑤地域の事業者の方を招いて授業を行っていただいている。子どもたちの職業観などを刺激できる部分は多いと考えている。</p>
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	<p>○乳幼児期から学校卒業後を見通した「途切れない支援」の充実</p> <p>①通常学級において相談支援ファイルを作成している児童生徒は何人いるのか。</p> <p>②相談支援ファイルはどのように活用されているのか。</p> <p>③精神科医や小児科医からの指導助言を受けていることについて、これは報酬に含まれているのか。</p>	<p>(育ち支援課長)</p> <p>①1506人である。</p> <p>②指導にかかわる多くの教員が、その児童生徒の成育歴や特性を理解することに活用している。</p> <p>③含まれている。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	<p>○学びの一体化推進事業について ①学びの一体化推進事業を継続してきた効果を確認したい。</p> <p>②授業参観後の事後検討や学校での活用について具体的にどのように行われているのか。</p>	<p>(教育推進課長) ①現在は、指導案の検討から授業参観、事後検討まで、幅広く実施されている。相互参観は文化として根付いている。</p> <p>②授業参観後は事後検討会として、その場で教員同士が意見交換を実施している。各校区で学びの一体化の取組について年間の報告を作成しており、この報告を基に、次年度の事業改善に繋げている。</p>
山田 知美 (新風創志会)	<p>○外国人児童生徒教育における適応指導員の派遣について ①適応指導員の派遣は、各学校からの要望に応じて行っているのか。</p> <p>②年齢が低い児童生徒からの需要が高い印象があるが、中学校7校に配置されているということは、日本語が話せない状態で海外から入学する生徒も多いのか。</p> <p>③適応指導員も人手不足になる可能性もあることから、人材の確保もしながら事業を進めてほしい。(意見)</p>	<p>(教育推進課長) ①各学校からの日本語指導が必要な児童生徒に関する報告書に基づいて配置をする場合もあれば、直接教育委員会に要請があって派遣する場合もある。</p> <p>②中学校から日本に来た生徒は日本語の習得が難しく、特に国語や社会などの教科で困難を抱えることが多いため、適応指導員の派遣は有効であると考えている。</p>
中川 雅晶 (公明党)	<p>○部活動地域展開について ①部活動地域展開モデル策定支援業務委託の結果から見える令和8年度地域展開完全実施の最重要課題は何か。</p> <p>②地域指導者の確保と育成についてどのように考えているか。</p>	<p>(教育推進課長) ①地域クラブ化するにあたり、必要クラブ数の整理と指導者の確保が課題と捉える。</p> <p>②現在、中学生に指導を行っている指導者を中心に確保する。令和8年度は指導者講習会を実施し、指導者育成を行う。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>①休日も指導を望む教職員に対する教育委員会の対応はどのようなものか。</p> <p>②地域指導者として指導する教職員への報酬はあるか。</p>	<p>(教育推進課長) ①兼職兼業願を所属長から教育委員会に提出し、指導を継続できる体制を構築する。</p> <p>②兼職兼業の教職員にも他の地域指導者同様の報酬を支払っている。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	<p>○「チーム学校」推進事業のスクールソーシャルワーカー配置について</p> <p>①スクールソーシャルワーカー(SSW)が複数校を兼任するのは負担が大きいと考えるが、配置に当たっての基準を確認したい。</p> <p>②SSWを新たに採用するためにどのように取り組んでいるのか。</p> <p>③SSWは不登校支援に不可欠な存在であり、今後も需要は増加すると考えられる。人材不足を理由に相談が停滞しないよう、更なる体制整備が重要である。(意見)</p>	<p>(育ち支援課長)</p> <p>①SSWの配置については、生徒数、相談件数に加え、個々の働き方等の希望も考慮し、総合的に判断している。</p> <p>②県が配置するSSWの配置時間の増加について、県に要望しているが、現在のところ時間数は大幅に増えていない。SSWの資格を持つ人材が不足しているため、情報交換研修会等による人材育成や質の向上を目指すとともに、社会福祉士会へのアプローチなどを通じた人材確保に努めている。</p>
山田 知美 (新風創志会)	<p>○スクールロイヤーについて</p> <p>①スクールロイヤーを活用した法的相談は年間で5回だけなのか。</p>	<p>(育ち支援課長)</p> <p>①スクールロイヤーに相談したのは5回だが、この他に、教育委員会の顧問弁護士に相談したのが11回、総務部総務課に所属する法務専門監に相談したのが35回であり、昨年度は計51回、法的な相談をしている。</p>
中川 雅晶 (公明党)	<p>○学校ADRの活用について</p> <p>①行政による学校問題の解決支援体制が構築されているとのことだが、具体的にはどのような取組がなされているのか。</p> <p>②学校問題解決支援コーディネーターが、現場に入って問題解決に当たる役割が求められていることから、必要な研修を受けた熱意のある人材を採用することが重要であり、このような体制を整備することで、教員不足や働き方改革に寄与するものと考えている。このための予算や事業の推進についての考えはあるか。</p> <p>③教員が辞めずに働き続けていただくような環境作りを教育委員会がサポートする必要があるため、ぜひ学校現場の声を聴きながらこの事業をもう少し拡充していただきたい。(意見)</p>	<p>(育ち支援課長)</p> <p>①学校現場では様々な対応が求められる中、育ち支援課生徒指導グループの指導主事が現場に赴いて支援している。さらに、学校問題解決支援コーディネーターとして、校長OBが窓口となり保護者や児童生徒等からの相談に応じる体制を整えている。</p> <p>②学校ADRを整備する以前から、校長OB5名が相談対応や学校への指導助言を行っていた。これを学校問題解決支援コーディネーターに位置付け、専門家と連携して現場の課題を解決する体制を整えた。まずはこの取り組みを検証したい。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	<p>OSNS相談アプリSTANDBYの活用について</p> <p>①SNS相談アプリの利用状況について、相談の実件数と延べ件数が提示されているが、どう違うのか。</p> <p>②児童生徒が24時間相談を送信できるのは良いが、返信が平日のみで時間帯も限られることについては今後も変えるつもりはないのか。</p> <p>③SNS相談アプリから専門機関や支援機関につないだ事例はあるか。</p>	<p>(育ち支援課長)</p> <p>①実件数はやり取りの1往復を1件として数えた数、実件数は相談を行ったアカウントの数を示しており、実人数は把握していない。</p> <p>②相談のやり取りが終わった後のアンケート結果では満足度は高く、現在のところ、返信の時間帯については拡大する考えはない。</p> <p>③返信の中で相談を勧めることはあるが、匿名性のため、具体的な事例は把握していない。</p>
中川 雅晶 (公明党)	<p>〇四日市版コミュニティスクール推進事業について</p> <p>①決算額の内、子どもたちが直接享受できる予算は2割程度に見える。実際にはどのように子どもたちに還元されているのか。</p> <p>②子どもたちが享受できる取組の内容に学校間で差が見られる。マンネリ化している学校もあるのではないか。</p> <p>③報告書の公開方法の工夫や、学校からの提案型予算配分などを検討すべきではないか。子どもたちからの提案を基にした予算活用や、他校の先進的な取り組みの情報共有と実践を促進する必要がある。</p>	<p>(教育推進課長)</p> <p>①確かにゲストティーチャー報酬費など、子どもたちの教育活動に直接使われる予算が少なく見えるかもしれない。しかし、運営協議会では委員による授業参観を行い、授業や学校環境の改善に繋げるという形で子どもたちに還元されている。</p> <p>②各校で様々な工夫をして実施しているが、マンネリ化を防ぐため、リーフレットを用いた活動報告や、委員長の研修会などを通して、活性化を図っている。</p> <p>③さらに四日市版コミュニティスクールの事業を活性化していく方策を考えていきたい。</p>
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	<p>〇講師採用について</p> <p>①ペーパーティーチャー相談会が実施されているが、具体的な採用実績はあったのか。</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①昨年度は若干名が採用されており、その前の年度も採用された非常勤講師が小学校高学年の指導を行うなど成果を上げている。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	<p>○メディア・リテラシー養成を通じた人権教育推進事業について</p> <p>①インターネットに関するリテラシー教育は別の部署で行われているのか。</p> <p>②様々なリテラシーがある中でネット依存や犯罪の危険性についても考慮した教育をすることで、さらに事業効果が上がるのではないのか。</p> <p>③AIやスマートフォンを効果的に活用すれば世界はどんどん広がることから、小中学生のうちにメディア・リテラシーを身につけることは、社会に出た際に非常に役に立つと考えるので、今後の事業の拡充を期待する。(意見)</p>	<p>(人権・同和教育課長)</p> <p>①本事業で行う出前授業は、日常生活の中での仲間づくりやお互いの関係性を考えるような内容としている。あわせてネットでのリテラシーや法律面での配慮などについても盛り込むようにしている。</p> <p>②各学校ではスマートフォンやインターネットとの接し方について、企業による特別講座や青少年育成室によるスマホ安全講座を実施している。特にスマートフォンの所持率が上がってくる小学校3年生や中学2年生を対象に、発達段階を考えて総合的に考慮しながら事業を実施している。</p>
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	<p>①人権の研修会でリーダー育成を行っているとのことだが、育成されたリーダーはそれぞれどのように指導を行うのか。</p> <p>②保護者に対する取り組みは行っていないのか。</p> <p>③不登校の子どもたちに対するメディア・リテラシー指導はどのように行っているのか。</p>	<p>(人権・同和教育課長)</p> <p>①人権教育リーダー育成事業では、校内における人権教育の推進役を3日間の研修で育成している。研修後は、人権・同和教育課の指導主事が伴走支援を行いながら各学校での実践報告を受ける形で進めている。</p> <p>②リーフレットを作成しており、出前授業の内容を含め子どもたちが家庭で話し合えるように工夫している。保護者の意識を高めることも重要であり、今後その拡充についても検討していきたい。</p> <p>③不登校や当日授業に出席できなかった子どもたちに特別な指導は行っていないが、学級担任が授業内容を振り返ったり、学級での指導に生かしたりしている。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>○校内ふれあい教室について</p> <p>①保護者アンケートは抜粋掲載とのことだが、他にどのような意見が寄せられているのか。また、現状の満足度や改善要望について伺いたい。</p> <p>②今回の決算内容、寄せられた意見、改善点を踏まえ、改善点につながるような内容があれば、それも記載するように意識してほしい。(意見)</p>	<p>(登校サポートセンター所長)</p> <p>①スペースの都合で抜粋掲載としたが、感謝の声が多数を占めており、概ね満足度が高い。一方で、学校に届いた要望として、現在、開室日数が週に18時間(3～4日)であり、毎日開室にしてほしいという声が届いていることは把握している。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	<p>○不登校対策推進事業について</p> <p>①不登校対策推進事業の決算額5469万2640円のうち、3456万9307円が校内ふれあい教室の設置拡充に使われているが、主な支出内容について教えてほしい。</p> <p>②今後、校内ふれあい教室の環境整備や現場の先生や過去に登校していた子どもたちの声も聞きながら、登校を促す備品等に予算を使う方針はないのか。</p> <p>③登校を誘発するような工夫や、通常教室の授業をオンラインで視聴、参加できる仕組みなど、校内ふれあい教室が不登校児童生徒の登校へのステップになるよう取り組んでほしい。(意見)</p>	<p>(登校サポートセンター所長)</p> <p>①主に校内ふれあい教室の開設に伴う指導者の給料に支出されている。</p> <p>②パーテーションの整備や学用品は今後も必要だと認識しており、環境整備に努める。今後も子どもたちが過ごしやすい環境を整えていきたい。</p>
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	<p>○インクルーシブ教育推進事業について</p> <p>①医療的ケア児への支援について、看護師の人数は足りているか。</p> <p>②指導看護師の役割は何か。</p>	<p>(育ち支援課長)</p> <p>①看護師の人数は足りており、適正配置ができています。</p> <p>②指導看護師は、各校を巡回し、経験の浅い看護師などをサポートしている。今後、指導看護師を複数配置することを考えています。</p>
山田 知美 (新風創志会)	<p>①インクルーシブ教育の考え方として、障害のある児童生徒だけでなく、性的マイノリティ、外国にルーツを持つ子ども、複雑な家庭環境の子どもなど、多様な背景を持つ子どもたちが共生できる学校づくりを目指すべきではないか。</p>	<p>(育ち支援課長)</p> <p>①文部科学省や本市が事業の名称として使っているインクルーシブ教育は、障害の有無に関わらず共に学ぶという考え方だが、広義のインクルーシブとして外国籍の子どもをはじめ、様々な背景を持つ子どもたちが共生できるような教育を推進していく。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	<p>○学校医について</p> <p>①医師の高齢化もあり学校区内の医療機関に限定すると学校医の活動が難しくなるが今後の方向性はどうか。また、歯科医師会はどうか。</p> <p>②学校健診のDX化の状況はどうか。</p> <p>③医療機関と学校が一緒にDX化を進め双方でやり取りができるような取り組みを行い時代に適応していくべきであるがどうか。</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①学校医、歯科医はそれぞれの医師会に相談し決定していることから、今後も医師会と相談しながらご意見を活かし子どもたちの健診を実施できるよう進めていく。</p> <p>②例えば良い歯のコンクール審査における写真の送付等についてICTを活用している。</p> <p>③子どもの健康を守ることを第一に医師会等と協力して進めていきたい。</p>
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	<p>○学校給食における地産地消について</p> <p>①地産地消を進めるためには費用がかかるのか。また、1年間で26品目の使用が目標か。</p> <p>②目標を達成するにはどれくらいの費用がかかるのか。</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①そのとおりである。</p> <p>②農産物は気候に左右されるため具体的な費用については想定できない。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>①アグリサポーターが50者以上存在するが、実際に活動しているの15者程度と聞いている。活用についてどのように考えているのか。また、子どもたちの感想を伝えることも重要と考えるがどうか。</p> <p>②子どもたちの顔を見ることで生産者の意欲も高まり交流を重ねることで地産地消が促進される。子どもたちの喜びを伝えることも重要なためぜひ積極的に発信してほしい。(意見)</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①農産物を活用した食育の授業等も実施いただいており、そうした場を通じて子どもたちの感想等も伝えることができている。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
上 麻里 (政友クラブ)	<p>○学校施設の適切な維持管理整備に対するアンケートでの満足度評価について</p> <p>①前年度に比べ、満足度のポイントが下がっている要因は猛暑日とのことであるが、暑さ対策の予算は充実しているのか。</p> <p>②普通教室に設置されているエアコンについて、昨今の猛暑においても適切に機能しているのか。</p>	<p>(教育施設課長)</p> <p>①ポイントが下がった主な要因は、トイレやエアコンにあると分析している。トイレについては、大規模改修などにおいて洋式化やドライ化を進めている。また、エアコンについては、一部の特別教室や体育館にエアコンが入っていない状況の中、昨年度には熱中症対策マニュアルが見直され、WGBT31以上の場合には直ちに運動を中止とされたことなど、多くの場面で児童生徒の活動が制限されたこともあり、満足度が下がる要因となったと考えている。</p> <p>特別教室や体育館への空調整備については、令和8年度末までの完了を目指して整備に取り組んでいく。</p> <p>②普通教室におけるエアコンについては、換気を行いながらも熱中症対策として適切に運用できている。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>○登下校時の熱中症対策について</p> <p>①登下校時の熱中症対策についてどのような取り組みを行っているのか。</p> <p>②帰宅時間や距離は異なるため、今後はさらに具体的な対策を考える必要がある。また、地域の理解を得るため日傘利用についての啓発活動もしてほしい。(意見)</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①登下校時には子どもたちに水筒を持たせ水分補給を促している。特に小学生に対しては下校前に水筒の中身を確認するなど熱中症予防を指導している。日傘の活用についても推奨している。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>○図書館の利用実績について</p> <p>①前年度と比較して利用実績が減少しているが、電子図書館の影響か。</p> <p>②電子図書館とは別に、紙の本に対するニーズがあることが理解できた。</p>	<p>(図書館長)</p> <p>①システム更新に伴う臨時休館があり、開館日数が減っていることが原因。また、電子図書館は学校での利用が多く、一般利用者の増加が課題である。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
上 麻里 (政友クラブ)	<p>○現図書館の利用環境改善について</p> <p>①机や椅子の配置を増やしてはどうか。</p> <p>②トイレは洋式化されているのか。</p> <p>③新図書館ができるまで現図書館を快適に利用できるようよう、費用対効果を考えたうえで予算のあり方を議員で考えたい。</p>	<p>(図書館長)</p> <p>①場所に余裕がなく、物理的に難しい。</p> <p>②各階に必ず洋式はあるが和式もある。</p>
山田 知美 (新風創志会)	<p>①座席数を増やす、中学生にも自習室の利用を認めるなど、快適に、使いやすくなるように少し柔軟に考えてほしい。</p>	
中川 雅晶 (公明党)	<p>①新図書館でも活用できるもの、防犯上、防災上に関わるものに関しては取り組むべきと考える。ハードに関しては、何を優先するのか、どの程度まで予算をかけるのか議論は必要。</p>	
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	<p>①新図書館ができるまでは、現図書館は市民が喜んで利用できる施設でないといけない。現図書館に対する予算について、どう考えているのか。</p> <p>②現図書館を生き生きと活用できる施設にする、そういう姿勢を市民に示すべき。(意見)</p>	<p>(図書館長)</p> <p>①ここ数年、電子図書館導入、移動図書館車の更新、ICタグ導入による貸出・返却の利便性向上など、ソフト面を充実させてきた。ハード面の整備は、躯体の大きさも限られており難しい。今後もソフト面を充実させていきたい。</p>
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	<p>○移動図書館について</p> <p>①「みなと号」(平成20年購入)の更新予定は。</p> <p>②現在、91箇所を巡回しているが、3台になってさらに増えるのか。</p> <p>③熱中症対策のため一部運休とあるが、今年はどうか。</p> <p>④熱中症が懸念されるような暑い時期は、運行計画に含めない方がいいと考える。(意見)</p>	<p>(図書館長)</p> <p>①来年2月ごろ更新予定。大きさは現在の3.5トンの大型車から、2トンの中型車に変更となる。先日寄贈された小型の「くじら号」とあわせて3台体制になる。</p> <p>②従来の「かもめ号」「みなと号」で決まった停車場所を巡回し、くじら号は子育て支援施設などをデマンド型で派遣予定である。</p> <p>③数回、午後の巡回を運休している。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	<p>○プラネタリウム機器更新スケジュールについて</p> <p>①プラネタリウム機器更新について、令和7年度からの10年を見据えた計画は検討しているか。</p> <p>②市民の財産として、プラネタリウム周辺機器も計画的に更新し、先を見据えて検討・展開いただきたい。(意見)</p>	<p>(博物館副館長)</p> <p>①今後の技術革新を見据えながら検討していきたい。</p> <p>②より良い番組の選定や職員による解説など、プラネタリウムに興味をもってもらえるよう展開していきたい。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>①座席の仕様はどのようなものか。</p> <p>②カップル席など、大人が楽しめるような設備はあるか。また、市民公園と合わせた、プラネタリウムのポテンシャルを活かした取り組みを検討いただきたい。</p>	<p>(博物館副館長)</p> <p>①座席は144席あり、大部分がリクライニングシートになっている。</p> <p>②土曜には夜間投映を実施し、カップルの来館も見受けられる。カップル席と限定していないが、2人掛けシートも設置している。</p>
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	<p>○改正博物館法施行に伴う主な方向性について</p> <p>①9/12の大雨被害に関わり、水損した博物館資料の冷凍処置に市内民間企業が協力した。改正博物館法の「地域の多様な主体との連携・協力」を踏まえて、広い視野で民間企業を含めた様々な主体と連携協力体制を図ってはどうか。</p>	<p>(博物館副館長)</p> <p>①博物館だけで解決できないことは外とのつながりを意識していく必要がある。今回のような災害も視野に入れて検討していきたい。</p>
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	<p>○博物館バックヤードツアーについて</p> <p>①バックヤードツアーについて、市民から非常に人気があるが、最近の実施状況はどうか。</p> <p>②様々な参加者を想定して、ツアーの可能性を広げてもらいたい。(意見)</p>	<p>(博物館副館長)</p> <p>①令和6年度は5月、8月に、今年度は5月に開催した。来年度の計画については対象者など構成を考えながら実施していきたい。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>○特別展等開催費について</p> <p>①特別展について、子どもをターゲットとした展示とあるが、子どもの詳しい年齢層を教えてください。</p> <p>②中学生・高校生・大学生が来館する機会は確保できているのか。</p> <p>③今後の展覧会について、学生が興味を持てるようなチームラボなどデジタルアートも視野に入れて検討いただきたい。</p>	<p>(博物館副館長)</p> <p>①「木工作家つちやあゆみ 木とメロディーの世界」展は9歳以下の子どもと保護者が多かった。一方、「英国王室に咲くボタニカルアートとウェッジウッド」展は60代が最も多かった。</p> <p>②中学生・高校生・大学生の来館者数増加は博物館でも課題と考えている。まずは博物館に来館するきっかけを創出できるよう検討していきたい。</p> <p>③今後、そのような展覧会についても検討していきたい。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会全体会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
森川 慎 (政友クラブ)	<p>○講師採用について</p> <p>①教員不足について令和6年度最終的にどのくらい不足していたのか。正規職員だけではどのくらいか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>①令和6年度末時点で常勤講師、臨時的任用講師を含めて小学校23人、中学校20人である。正規職員では小学校15人、中学校8人である。</p>
谷口 周司 (新風創志会)	<p>①人数の不足だけでなく教員の質も重要である。令和6年度において教員の不祥事はあったのか。</p> <p>②子どもへの影響が大きいと、人数の問題だけでなく教員の質も併せて考えていく必要がある。</p> <p>③学校において疑義があった場合は現場だけでとどめることなく教育委員会で把握しきっちりに対応すべきである。</p>	<p>(教育長)</p> <p>①令和6年度においては1件発生した。大麻所持による逮捕という大きな問題があり再発防止に努めている。</p> <p>(副分科会長)</p> <p>②自身も教育長には姿勢を質問し、やり取りはあった。教員の質については大切であると認識している。</p> <p>(教育長)</p> <p>③報道にある問題については真摯に受け止めている。県からも指示があるが本市ではその前の7月末に全校において不審物の点検を実施し、私物端末使用ルールも定め徹底して取り組んでいる。</p>
荻須 智之 (政友クラブ)	<p>○給食における地産地消について</p> <p>①アグリサポーターの記載があるが商工農水部とあまり連携されていない。議論されたのか。</p>	<p>(上委員)</p> <p>①商工農水部との連携を含めて地産地消を進めていただきたいと意見を述べた。</p>
伊藤 嗣也 (政友クラブ)	<p>○教育施設の適切な維持管理整備</p> <p>①空調について、教室の前後の窓を少し開けて換気を行いながら運用しているとあるが、設定温度は何度にしているのか。</p> <p>②空調が未整備な体育館等は「令和9年度から供用開始を目指す」とあるが、状況はどうか？</p> <p>③文部科学省が示す教室における望ましい室内温度である17℃以上、28℃以下を満たすことができるのか。</p>	<p>(教育施設課長)</p> <p>①学校環境衛生基準に基づく教室の室内温度28℃以下を満たすように空調を運用するため、各教室の状況に応じて、設定温度を28℃より下げるなど調整を行い、空調を運用している。</p> <p>②入れも済んでおり、予定通り進んでいる。</p> <p>③満たすように機器を決定している。</p>
森川 慎 (政友クラブ)	<p>①教室の空調整備にあたり、空調機器の能力を決める基準はあるのか。</p>	<p>(教育施設課長)</p> <p>①国が示している基準を参考に、機器の能力を決定している。</p>

令和7年9月議会(決算常任委員会全体会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
荻須 智之 (政友クラブ)	<p>○学びの一体化推進事業について</p> <p>①大矢知地区は人口が増えているが、地区に中学校がない状況である。小中一貫校はいつやるのか。</p> <p>②市内で人数が増えているところも減っているところも把握していると思うが、なぜ何もしないのか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>①小中一貫教育の推進については、当初はモデル校指定という考え方もあったが、現在は全校区へ展開している。地域によって学校の数や規模も異なり、地域に合ったかたちで小中のつながぎを検討していきたい。</p> <p>②学校の適正配置の考え方において、朝明中学校については、現在の生徒数は適性範囲内にあり、その他の学校も分離新設をする考えはない。その地域に応じた学校数や学校規模のあり方を検討していきたい。</p>
石川 善己 (新風創志会)	<p>○部活動サポート事業について</p> <p>①文化部と運動部を切り分けた趣向の議論はなかったか。</p> <p>②文化系(吹奏楽)の地域指導者の確保は難しいと捉えるが、指導者確保について教育委員会の見解を聞きたい。</p> <p>③昨年度末から、今年度5月頃にかけて、部活動地域移行について、教育委員会から何の説明もなく不安であるという保護者の意見を聞いた。その辺りの事実関係はどうか。</p>	<p>(分科会長)</p> <p>①概ね、スポーツの方が話題の中心で、切り分けるという状況にはなかった。</p> <p>(教育監)</p> <p>②運動部に比べ、文化部(吹奏楽)の指導者確保は難しい。現在指導をしている教員や教員OB、市内の楽団等に向けて広く声をかけている状況。</p> <p>③昨年度の時点で、保護者に令和8年度地域展開完全実施をすることは伝えており、保護者が不安を抱いていることは承知しているところであり、各中学校における入学説明会において、教育委員会が出した資料をもとに統一した説明を行った。今年度は、9月に具体的な説明やQ&Aを全ての保護者にメール配信した状況である。</p>
笹井 絹代 (政友クラブ)	<p>○メディア・リテラシー養成を通じた人権教育推進事業について</p> <p>①出前授業は、小学校3年生と中学校2年生のみで、他の学年ではやっていないのか。</p>	<p>(教育監)</p> <p>①本事業では、その2学年であるが、それ以外に青少年育成室など様々な機関のメニューを使い、メディア・リテラシーや情報モラルについては、全ての学年で取り組んでいる。</p>

令和7年9月議会(予算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

◎補正予算(新教育プログラム推進事業費(体力・運動能力向上))

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	①寄附者からはダンスの授業に活用してほしいとの意向があったのか。 ②スピーカーとワイヤレスイヤホンは何セット買うのか。	(教育推進課長) ①寄附者の意向は、体力向上のために活用してほしいとのことであった。 ②59校に1セットずつ購入する。
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	①1セット当たりの価格はおおよそどのくらいか。 ②スピーカーはダンスだけでなく、他の用途にも使えるのか。	(教育推進課長) ①1セット当たり約10万円前後となる見込みである。 ②学校の様々な活動にも活用できると考えている。
上 麻里 (政友クラブ)	①故障したときはどうするのか。 ②必要な修理を行い、寄附でいただいた用具を大切に使って欲しい。(意見)	(教育推進課長) ①買い取りの機器であるため、保証期間内はメーカーや代理店で修理し、保証期間を超えた場合は学校の予算内で修理することになる。
中川 雅晶 (公明党)	①寄付をいただいた方への配慮はあるのか。	(教育推進課長) ①マスコミにも入っていただき、寄贈式を行いたいと考えている。学校にも伝えて、大切にしていきたい。
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	①寄附者に対して感謝を伝える意味でも、寄附されたものによる成果を寄附者に伝えるべきではないか。	(教育推進課長) ①寄贈時には寄贈式を行い、記者発表をして広報活動を行う予定である。寄附者には、活用状況と成果を報告するとともに、ホームページなどで活用の様子を紹介し、広くPRしていきたい。
上 麻里 (政友クラブ)	①ケントモリ氏が本市のダンスプログラムに関わっていることについて市民に周知しているのか。 ②このダンスプログラムは運動会などで披露される機会があるのか。	(教育推進課長) ①授業の様子はホームページで周知しており、9月30日にケントモリ氏が学校を訪問する際には、記者発表もする予定である。 ②現在、三重小学校を拠点校として取り組んでおり、運動会での実施も予定している。指導動画を全校に広げた後、各校で活用していく。

令和7年9月議会(予算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

◎補正予算(新教育プログラム推進事業費(体力・運動能力向上))

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	①9月30日の三重小学校のダンスの授業は、一般の方も参加できるのか。	(教育推進課長) ①基本的には授業であり、保護者の方が見に来れば公開するが、一般の方が大勢来校するのはセキュリティ上難しい。
竹野 兼主 (フューチャー 四日市)	①寄付をこのようなかたちでいただきましたということだけでなく、寄付していただいてどのような成果があったのかをいうことを改めて寄付者に伝える必要があるのではないか。	(教育推進課長) ①感謝状を渡して感謝を伝えたい。また、体力や健康の増進について効果をあげて報告していきたい。

令和7年9月議会(予算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

◎補正予算(学校図書館図書整備事業費(小・中))

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	①寄附は教育委員会と図書館とで検討して学校へとったのか。 ②司書が選書しているのか。	(学校教育課長) ①寄附者から、学校への寄附としていただいている。 ②司書だけでなく、児童生徒の意見も取り入れている。
中川 雅晶 (公明党)	①寄附者からの寄贈された本として、子どもや保護者に周知する配慮はしているのか。	(学校教育課長) ①寄贈された本を紹介する図書コーナーを設け、児童生徒、保護者にわかりやすく伝えている。また、学校だよりでも周知している。
日置 記平 (政友クラブ)	①この寄附者は毎年寄附していただいているのか。	(学校教育課長) ①ここ近年は毎年に近い形で寄附していただいている。

令和7年9月議会(予算常任委員会全体会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
太田 紀子 (共産党)	<p>○新教育プログラム推進事業費(体力・運動能力向上)</p> <p>①スピーカー等が学校の予算内で修理できなかったときはどうするのか。この先を考えると、有用なものなら市で予算をつけて修理するべきではないか。</p>	<p>(教育監)</p> <p>①有用なものと考えており、故障した際、あるいは廃棄しなければならなくなった際には、学校及び教育委員会の予算で対応したい。各校の教育活動に支障がでないようにしたい。</p>
小田 あけみ (フューチャー四日市)	<p>①なぜ、三重小学校が選ばれたのか。</p>	<p>(教育監)</p> <p>①三重小学校は体力向上推進校である。それ以外の学校にも本プログラムを広げていく。</p>
伊藤 嗣也 (政友クラブ)	<p>①ケントモリ氏が、子どもではなく、まずは先生に指導するべきではないか。動画教材よりも生の方が良いのではないか。</p> <p>②ダンスの種類は何か。</p> <p>③ケントモリ氏を選んだ根拠は何か。</p> <p>④しっかりとした根拠で選んでほしい。残念である。(意見)</p>	<p>(教育推進課長)</p> <p>①同じ空間で指導する方が理想だが、ケントモリ氏はアメリカなどにも行かれる方で、拠点校以外にも生で指導するのは難しいところもある。動画教材を活用していく。</p> <p>②ケントモリ氏は、マドンナやマイケルジャクソンに関わってきた方。現代のダンスの振り付けをされる。練習の仕方も含めて指導動画として、各校で使いやすいものにしていく。</p> <p>③学習指導要領における表現運動領域にはリズムダンスの内容も含まれており、ケントモリ氏のプログラムはこれにも合うのではないかと考えている。</p>

令和7年9月議会(教育民生常任委員会 報告)の質問質疑に対する答弁要旨

◎いじめ・不登校の状況報告について

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	①人権擁護委員、スクールロイヤーなどを招いてのいじめ予防授業をしている学校があるが全校ではないのか。 ②いじめ防止対策委員会は常設ではないのか。	(育ち支援課長) ①道徳や、人権フォーラム、STANDBYのいじめ予防授業などの取り組みを全校で実施しており、人権擁護委員やSLによるいじめ予防授業はプラスアルファの取り組みとして行っている。 ②多くの学校で定期的に行っている生徒指導委員会の中で、いじめ防止対策委員会も実施している。また、事案によって臨時で集まって開催することもある。
山田 知美 (新風創志会)	①いじめリスクアセスメントを令和6年度からデジタル化したというのはどういうことか。 ②記名式か。 ③どれぐらいの頻度か。 ④こころの天気については毎日行うのか。担任とのやりとりはできるのか。	(育ち支援課長) ①紙ベースで行っていたものをデジタル化した。リスクが可視化できスピード感をもって対応できている。 (教育監) ②それぞれのタブレットから回答し、個人の特定はできる。 (育ち支援課長) ③最低限年2回は行っているが、学校によっては、毎月の学校もある。 ④基本的に毎日行う。担任とのやりとりは可能。
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	①いじめリーフレットについて、保護者からはどのような反応があるか。保護者への啓発はこれ以外にどのような取り組みがあるか。	(育ち支援課生徒指導GL) ①保護者から肯定的な意見は聞いているが、アンケートなどは実施していない。リーフレットを活用した講演会等への参加など、各校が工夫して取り組んでいる。また、子どもが家で保護者に話すような場合もある。
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	①チーム学校での専門家や、警察など他機関との連携は事例があったときに行っているものか、定期的に行っているものか。	(育ち支援課長) ①SC、SSWは各校に配置している。SLは随時。警察や児相などの関係機関には、教委が月1回程度連絡を取り合っていることの他に、事案があったときに各校や教委が相談にいらっている。また、各校でケース会議を開催して、関係機関と連携を図っている。
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	①「保護者の過度な介入」について、件数は増えているのか。チーム学校のSL以外に、庁内の資格者も活用しているのか。	(育ち支援課長) ①子ども同士の問題が親同士の問題に発展したり、相手の親からの謝罪を要求したりと、保護者が過度に介入する事案は増えている。SL以外に、顧問弁護士、法務専門監も活用しており、昨年度合計で51件の法的相談を行った。

令和7年9月議会(教育民生常任委員会 報告)の質問質疑に対する答弁要旨

◎いじめ・不登校の状況報告について

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
上 麻里 (政友クラブ)	①小学校から中学校にいくと、いじめ認知件数が減っているのはなぜか。	(育ち支援課長) ①そもそも小中で母数の子どもの数が違う。小学校は6年間、中学校は3年間である。
中川 雅晶 (公明党)	①「いじめ予防の取り組み」と同時に、「人とどう関わっていくか」ということが大切だと考えている。いじめ予防のために両輪の取り組みを期待する。(意見)	
山田 知美 (新風創志会)	①カタリバroom-Kで行っているオンライン支援は、今後も継続する予定か。 ②ある保護者から、市長のブログを見て「市がやっているカタリバのオンライン支援を活用したいが、どうやったら利用できるか」との相談があった。カタリバのオンライン支援は、希望すれば誰でも入れるのか。	(登校サポートセンター所長) ①今年度はトライアル実施で、現在、若干名の子どもが参加しており、順調に繋がっている。現在繋がっている子ども・保護者が居ることや、一定のニーズがあることから、来年度以降もカタリバroom-Kを継続し、安心できる学びの場を提供できるよう、予算要望していく。 ②本市では子どもの状況に合わせて支援策を講じている。オンライン支援は外出が難しい子どもの層への支援策である。希望があれば、まずは学校へ言っていただき、学校の登校サポート委員会にて検討し、必要であれば、学校が市教委へ申請する流れとなっている。
上 麻里 (政友クラブ)	①子どもたちにとって、フリースクールは必要だと思うが、フリースクールで何を学ぶかが重要である。フリースクールが子どもにとっても保護者にとっても安心なものになるよう、市としてはどのような方向性を見出していくのか。	(登校サポートセンター所長) ①子どもがフリースクール等で、どのような学びをし、どのような活動をしているかを学校が知り、連携を進めていくことが大事である。昨年度、フリースクール等との連絡会が設置されたことで、学校とフリースクール等との垣根が低くなり、連携しやすい関係性が作られつつある。
田中 徹 (市民目線の会)	①フリースクールと学校との垣根が低くなってきたとのことだが、学校でフリースクールを受け入れているか。	(登校サポートセンター所長) ①受け入れ始めたところである。フリースクールに通う子どもは若干名であるため、通う子どもが居る居ないで、学校の意識は異なると思われる。今後、啓発していく。
中川 雅晶 (公明党)	①不登校の対策について、初めて質問をさせてもらったところと比べると、カタリバのオンライン支援や保護者会、フリースクール等との連絡会など、支援策等の取組が各段に進んでいると思う。 フリースクールについては、そこに通う「子どもの安全」「学校との連携」を図ることが重要であり、それに協力してもらえるかが認証の最低限だと思う。助成については、三重県との整理をして考える必要があると思う。 保護者支援も市が保護者会を開く等、以前と比べると取組が進んでいると思う。不登校の場合、保護者の不安が子どもを追い詰めてしまうこともあるため、子どもも保護者も相互に安定する体制づくりをお願いしたい。(意見)	

令和7年9月議会(教育民生常任委員会 報告)の質問質疑に対する答弁要旨

◎四日市市休日の中学校部活動地域展開について

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
<p>笹岡 秀太郎 (政友クラブ)</p>	<p>①みんなのブカツ推進室の人員は何名か。</p> <p>②この人員で対応できるのか。</p>	<p>(みんなのブカツ推進室長)</p> <p>①室長、指導主事1名、事務職員1名、会計年度任用職員1名の計4名で、部活動地域展開における各団体との打合せ、運営管理、事務業務、部活動指導員・協力員の任用、管理、事務業務に加え、令和8年度以降の休日学校部活動地域展開の完全実施に向けた事業拡大の具体的な方策を立てている。</p> <p>②令和8年度からの完全実施では、地域クラブ数が大幅に増えるため、運営事務量も増えることとなる。現状の4人では、非常に苦しい状況である。令和8年度は、人員を増やすよう予算計上し、事業拡大に向け体制を整えていく。</p>

令和7年9月議会(請願)の質問質疑に対する答弁要旨

◎請願第2号 子供の貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の
拡充を求める請願

請願内容 要旨	<p>子どもの貧困率はおよそ9人に1人となり物価高が収まらず実質賃金低下の影響によりひとり親家庭の子どもを取り巻く環境は厳しい。貧困の連鎖を断ち切るための教育に関わる公的支援は極めて重要であり相談体制を充実させる取組を含め、就学・修学保障制度のさらなる拡充が必要である。高等学校等就学支援金制度では履修単位数によって授業料を定めている場合の支給上限の設定など改善すべき課題があり、専攻科生徒の国庫負担割合の引き上げについて国の責任において進めていくことが求められる。全ての子ども達の学ぶ機会を保障するため貧困対策の推進と就学・修学保障制度が拡充するよう国の関係機関へ意見書の提出を求める。</p>
------------	--

質問議員 (会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	<p>①10年前と比較すると貧困率は下がっているが、現在の貧困率と厳しい現状との数値のずれについてどう考えるか。</p> <p>②貧困の連鎖を断ち切るための支援とあるが、具体的な策はあるのか。</p>	<p>(請願者)</p> <p>①数値は下がっているが家庭状況は複雑化、多様化しており子どもを取り巻く環境は年々厳しくなっている。</p> <p>②ひとり親家庭に限らず、学校以外の相談窓口の常設化で。特に増加している外国籍者向けのオンラインを含む多言語相談窓口を増やすことが必要。また、塾に通えない子どものための放課後や休日における学習支援も必要である。</p>
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	<p>①物価高もあり子ども食堂やフードパントリーも増えてきた。自ら情報を入手できない家庭等はどうしたらよいか。利用したいのに行けない方の対応はどうか。</p>	<p>(請願者)</p> <p>①周知については行政側がすべきであり、多言語対応が効果的である。また、実際の利用者の意見や声の活用も有効である。行くことができない家庭の把握については学校で様子をみていく。傾聴しながら具体的な対応は可能である。</p>
中川 雅晶 (公明党)	<p>①修学支援、就学援助の拡充とは具体的にどの部分を指しているのか。</p> <p>②修学旅行費は就学援助制度でカバーされているが、隠れ教育費として負担しないといけない費用はあるのか。</p> <p>③物価高に対応していかなければならない部分があることを理解した。</p>	<p>(請願者)</p> <p>①高等学校では一人一台端末の負担である。小中学校では制服代や修学旅行費等の隠れ教育費への支援が必要である。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>②就学援助制度で対応しているが、物価高で旅行費用は上昇していることもあるため今後も引き続き注視していく必要がある。</p>

質問議員 (会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
上 麻里 (政友クラブ)	①多文化共生について笹川地区では場所がない等課題があるが今後市としてどう対応していくのか。また、県の学習支援制度を利用している子どもは充実しているのか。市民生活部と連携する中で課題等あれば聞かせてほしい。	(教育推進課長) ①日本語指導が必要な子どもは増えてきており適応指導員が対応している。学校生活において困り感が少なくなるように支援をしている。
山田 知美 (新風創志会)	①市の相談窓口はSTANDBYアプリしかなく、請願主旨の学校外の相談窓口の拡充とずれが生じているがどうか。	(育ち支援課長) ①STANDBYアプリについては多くの児童生徒に利用されている。それ以外にもいじめ体罰相談電話、特別支援や不登校の相談窓口もあり、夏休み前にはそれらの相談窓口を周知している。また、学校にはSSWが在籍し必要に応じて関係機関へつなぐことも行っている。
日置 記平 (政友クラブ)	①子どもの貧困対策の中で、学びの保障として経済的な就学支援を受けている義務教育の子どもはどのくらいか。 ②小学校と中学校の比率の違いは何か。 ③教育現場において義務教育にかかる家庭の支出はあるのか。 ④公的支援の中でもないのか。	(学校教育課長) ①就学援助率で言うと令和6年度の認定者数は全児童生徒数に対して、小学校10.25%、中学校12.55%となっている。 ②児童生徒数の違い、学年の違いによるものではないかと考えられる。また、中学校では制服代の費用が発生することもある。 (教育推進課長) ③例として教科書は無償であるがそれ以外に紙のドリル等の教材費を集金として保護者に負担いただいている。また、部活動での用品等も家庭に負担いただいている。 (学校教育課長) ④就学援助費の費用に学用品費があり、オンライン学習にかかる通信費用も含んだものである。新入学児童生徒に対する学用品費もある。また、校外活動費として修学旅行等の支給も行っている。
◎採択とする		

令和7年9月議会(請願)の質問質疑に対する答弁要旨

◎請願第3号 教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願

請願内容 要旨	全国的に教職員不足の問題が深刻化している。現場配置は不十分であり、教職員が心身ともにゆとりをもって子どもと向きあい教育活動を実施することは豊かな学びの保障につながる。安全・安心に学べる学校にするためにも欠員を速やかに解消する施策の実行とすべての校種の新たな教職員定数改善計画の策定と実施が望まれる。教育の公財政支出は世界でも低い水準であり私費負担割合が高い状態である。物価高騰による保護者の負担増もある中、教育予算の拡充により教育条件整備を進めることが教育課題の解決へとつながり、子ども達一人一人の豊かな学びを保障することになると考える。そのために教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行及び教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を行うよう国の関係機関に意見書の提出を求める。
------------	--

質問議員 (会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	<p>①子どもを取り巻く状況は多様化し教職員だけでは対応しきれない部分があると思うがどう考えているか。</p> <p>②外国籍児童生徒やいじめ、不登校等増えており適応指導員のおかげと認識している。SC等学校外の専門家の力で成り立っていると感じるため教職員の拡充だけでなく専門の人材も増やすべきではないか。</p>	<p>(請願者)</p> <p>①SCやSSWを活用し連携を取りながら家庭ともつながっていくということを大切にしている。</p> <p>②チーム学校として全員で見守ることは大切であるが、子どもは担任や学年で見守っている先生だからこそ話せる部分があるため近くで寄り添いながら見守ることのできる教職員の拡充が必要である。</p>
中川 雅晶 (公明党)	<p>①教員の定数や配置基準等課題であるが、教員自体が不足している状況の中で、教員のなり手不足が解消しないと解決しないのではないかと。なり手不足解消のために何が一番重要と考えるのか。</p> <p>②教員を目指す人が減っている。現場の環境や負担等が歯止めをかけているのでは。当市も教員以外の職員配置やICTを活用した取り組みをしているがなり手不足の解消には至っていない。行政による学校支援体制の構築により学校や担任の負担を減らすことができる。どのような学校現場を作っていくのが重要であり、なり手不足解消の本丸であると考え。(意見)</p>	<p>(請願者)</p> <p>①教員の立場からであると子ども達とかかわることの楽しさ、仕事の面白さを発信し、学校内だけでなく地域と繋がりながら地域に知ってもらい広がっていけばと考える。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>①教員の満足度の部分で待遇についての声で一番大きいものは何か。</p> <p>②教員にも家庭があり、生活や人生を大切にしていこうこともこの請願の中に含まれていると受け止めた。</p>	<p>(請願者)</p> <p>①今回の給特法の改正により改善しつつあるが給与についてである。また、育児短時間勤務や部分休業取得の柔軟な運用についてである。</p>

質問議員 (会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	①教職員定数改善計画について現状はどうか。	(学校教育課長) ①教職員定数は国の法律で決まっているため、市独自に教員を採用することはできず、県の採用によりそれぞれ配置される。学校に実際に必要な教員の数である教職員定数は学級数によって決まる。現在35人学級が進んでいる中で学校に必要な教員の数は増えている状況である。これに加えて教育課題に応じた県からの加配措置もとられ教員の数は決まる。
田中 徹 (市民目線の 会)	①記載に安全・安心に学べるために教員の数が必要とあるが、学校の安全管理の問題において、教員の不祥事のリスク管理が必要ではないか。考えを伺いたい。	(教育長) ①教員による盗撮等の問題については県からもルールや指示がきているが、本市においては県の指示がある前に全校の施設内の安全点検、撮影ルール設定等教育委員会と学校とがしっかり連携しコンプライアンスの徹底を図っている。
◎採択とする		

令和7年9月議会(請願)の質問質疑に対する答弁要旨

◎請願第4号 防災対策の充実を求める請願

請願内容 要旨	<p>国による津波対策のための不適格改築事業の補助要件である津波防災地域づくりに関する法律に基づく津波防災推進計画の策定は全国的に進んでおらず、支援制度の活用が難しいため、補助要件の緩和、補助対象の拡大等が求められている。また、災害発生時の性やプライバシーに関する課題への対応をはじめ、改善すべき課題は山積している。国の責任において、被災者が安心して避難できるよう備えるべきであり、過去の災害に学び、最善の備えを整えていくという考えの下、子どもたちの安全安心の確保のためにも、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実を求める意見書の提出を求める。</p>
------------	---

質問議員 (会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
	質疑なし	
◎採択とする		

令和7年9月議会(請願)の質問質疑に対する答弁要旨

◎請願第5号 義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願

請願内容 要旨	義務教育費国庫負担制度は、憲法の要請に基づく義務教育の根幹である「無償制」「教育の機会均等」を保障し、「教育水準の維持向上」を図るため、国が責任を持って必要な財源を措置するとの趣旨で確立された制度である。義務教育の基盤をつくるためには、教職員の確保、適正配置、資質向上及び教育環境整備等諸条件の水準を保障すべきであり、教育現場のICT化の環境整備においても、自治体間の差を生じさせないようにする必要があることから、未来を担う子供たちの「豊かな学び」のため、義務教育費国庫負担制度のさらなる充実について意見書の提出を求める。
------------	---

質問議員 (会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
	質疑なし	
◎採択とする		

令和7年度全国学力・学習状況 調査結果の分析について

2025 全国学力・学習状況調査 結果分析

令和7年10月

四日市市教育委員会

目 次

1	「全国学力・学習状況調査結果」5年間の推移	1
2	教科別分析	
	小学校国語	2
	小学校算数	4
	小学校理科	6
	中学校国語	8
	中学校数学	10
	中学校理科	12
3	四日市市の児童生徒質問紙調査の結果より	
	(1) 生活習慣・学習習慣	14
	(2) 学力層と教科に関する意識の関係	16
	(3) ICTの活用状況	18
	(4) 地域との関わり	19
	(5) ウェルビーイング	20
	(6) 自己肯定感に関わる意識	21
4	「全国学力・学習状況調査」を活用した授業づくり	23
5	参考資料	40

1 全国学力・学習状況調査結果の5年間の推移（R3～）

※ 平成29年度から、文部科学省の結果提供（平均正答率）は、本市と三重県は整数値、全国は小数値となっています。

※ 数値は平均正答率。中学校理科は、IRT スコアで示されています。

小学校		国語	算数	理科
令和3年度	本市	65	70	
	三重県	64	69	
	全国（公立）	64.7	70.2	
令和4年度	本市	66	63	65
	三重県	65	62	63
	全国（公立）	65.6	63.2	63.3
令和5年度	本市	67	61	
	三重県	67	62	
	全国（公立）	67.2	62.5	
令和6年度	本市	67	62	
	三重県	67	62	
	全国（公立）	67.7	63.4	
令和7年度	本市	66	55	56
	三重県	66	57	56
	全国（公立）	66.8	58.0	57.1

中学校		国語	数学	理科	英語			
					聞く	読む	書く	話す
令和３年度	本市	65	59					
	三重県	63	58					
	全国（公立）	64.6	57.2					
令和４年度	本市	69	52	49				
	三重県	68	52	48				
	全国（公立）	69.0	51.4	49.3				
令和５年度	本市	71	53		47			
	三重県	69	51		45			
	全国（公立）	69.8	51.0		45.6			
令和６年度	本市	57	54					
	三重県	57	53					
	全国（公立）	58.1	52.5					
令和７年度	本市	54	49	500				
	三重県	53	47	498				
	全国（公立）	54.3	48.3	503				

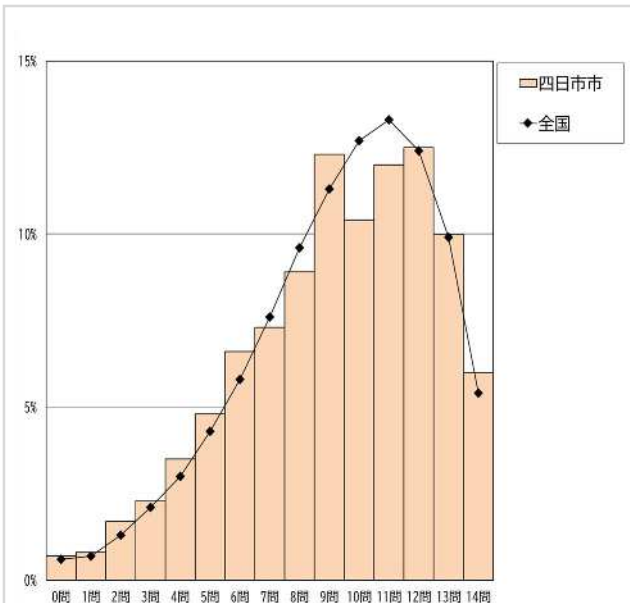
※ 理科の IRT とは、国際的な学力調査（PISA、TIMSS など）や英語資格・検定試験（TOEIC・TOEFL など）で採用されているテスト理論です。この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較できます。IRT スコアは IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すものです。

2 教科別分析（小学校 国語）



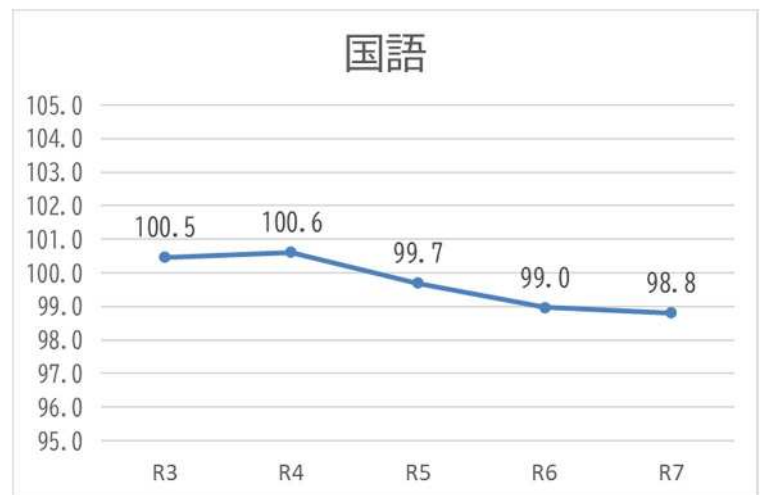
小学校国語の平均正答率は66%で全国を下回る結果でした。
 全国と比べると結果の散らばりがみられます。そのため、学力層についてもA層、D層の割合が高い傾向が見られます。
 また、領域別においては、話すこと・聞くことの正答率が上がり、読むことの正答率が低くなっています。

(1) 正答数分布



R7	四日市市	全国
平均正答率	66	66.8
中央値	10.0	10.0
標準偏差	3.2	3.0

(2) 全国値を100としたときの本市正答率の推移



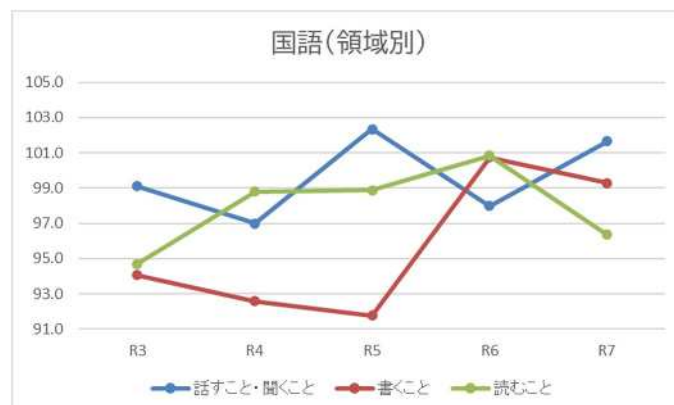
(3) 本市の学力層(四分位)の結果

	D層:0-6問	C層:7-9問	B層:10-11問	A層:12-14問
四日市市	20.4	28.5	22.4	28.5
全国	17.8	28.5	26.0	27.7

(4) 学習指導要領の領域別正答率推移

領域	R3	R4	R5	R6	R7
話すこと・聞くこと	99.1	97.0	102.3	98.0	101.7
書くこと	94.1	92.6	91.8	100.7	99.3
読むこと	94.7	98.8	98.9	100.8	96.3

全国値:100



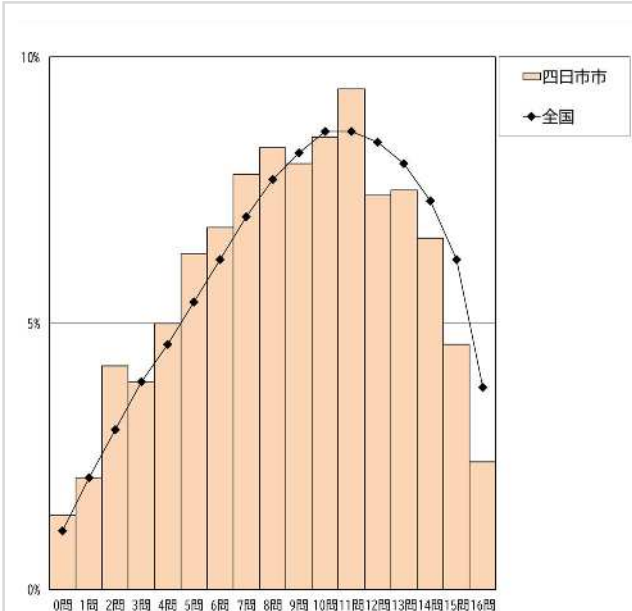
2 教科別分析（小学校 算数）



小学校算数の平均正答率は55%で全国を下回る結果でした。

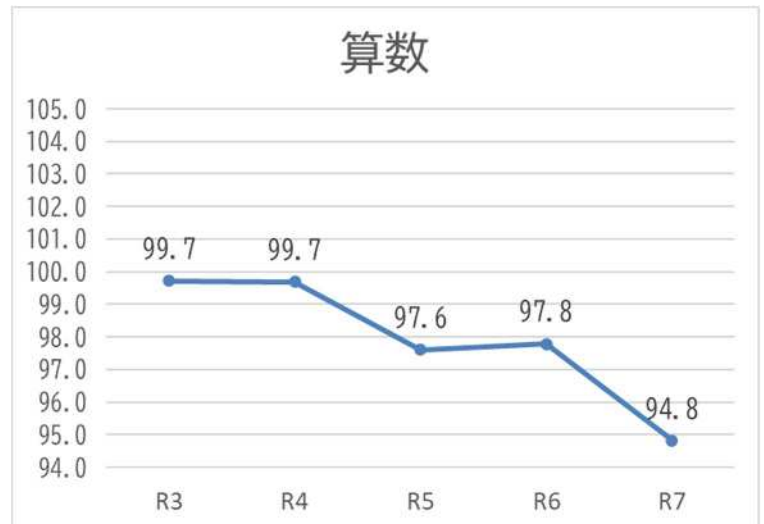
学力層の結果からはC層、D層の割合が高くなっていることから、全体的に学力が低下しています。
また、領域別においては、特に図形分野の正答率が顕著に低くなっています。

(1) 正答数分布

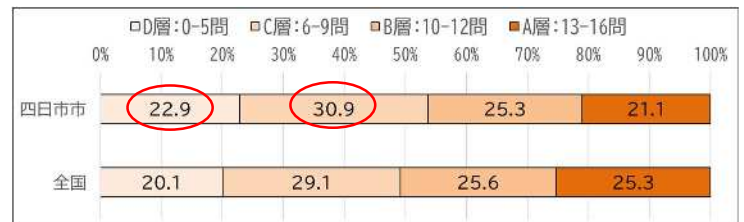


R7	四日市市	全国
平均正答率	55	58.0
中央値	9.0	10.0
標準偏差	4.0	4.0

(2) 全国値を100としたときの本市正答率の推移



(3) 本市の学力層(四分位)の結果



(4) 学習指導要領の領域別正答率推移

全国値:100

領域	R3	R4	R5	R6	R7
数と式	99.4	100.6	97.5	96.4	95.8
図形	93.3	100.8	94.6	98.2	92.2
測定	99.2	—	—	—	92.7
関数	99.5	100.8	98.2	95.2	93.6
データの活用	100.9	100.0	98.9	98.9	96.0



(5) 調査問題の結果から課題が見られた問題

問題	分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題。
大問 3 (2)	

正答率	
全国	23.0
四日市市	19.2

全国比-3.8ポイント

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 1 個分です。
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、2 + 1 を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。
 もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

(正答の条件)

次の①、②、③の全てを書いている。

① $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ に共通する単位分数が、 $\frac{1}{12}$ であることを表す数や言葉(分母が12の倍数の単位分数を含む)

② $\frac{3}{4}$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉

③ $\frac{2}{3}$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉

【誤答例】

通分について記述しているが、共通する単位分数が $\frac{1}{12}$ であることと、 $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ がそれぞれ共通する単位分数の幾つ分かは記述できていない。

【通分の意味を理解し活用する】

「通分で計算できること」とともに、「通分で計算が分かること」の理解が重要となります。共通する単位分数に着目し、加数と被加数がそれぞれいくつ分であるかを考えることで、整数での計算が可能となることを説明する学習活動が大切になります。

問題	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題
大問 2 (2)	

正答率	
全国	50.2
四日市市	41.3

全国比-8.9ポイント

(2) わかなさんは、方眼紙に下の 1 から 5 までの四角形をかきました。

下の 1 から 5 までの中で、台形はどれですか。

3つ選んで、その番号を書きましょう。

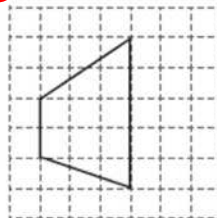
①



2



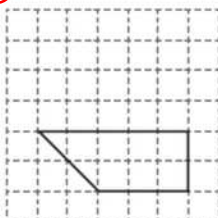
③



4



⑤



【誤答例】

選択肢5のような、上下に向かい合った一組の辺が平行であるが、上の辺の長さが下の辺の長さよりも長く、直角のある四角形を台形ととらえることができず、選べない。

【「形」から「図形」へ概念を理解する】

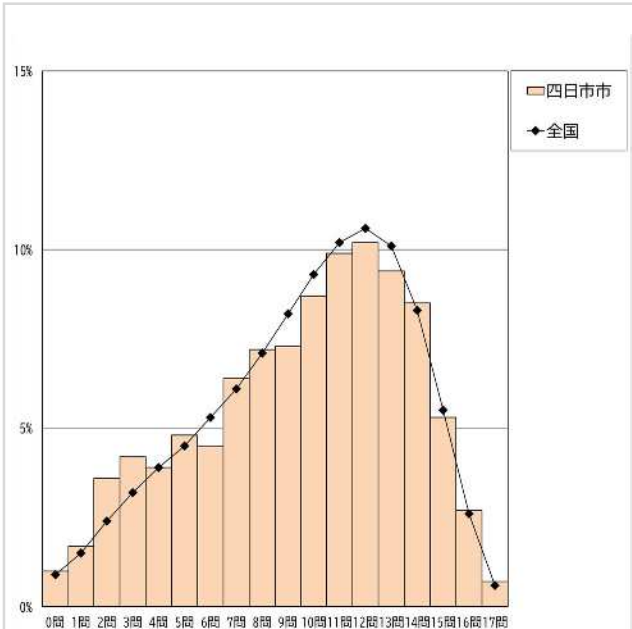
台形の意味や性質を理解しているかを問う問題です。台形というと「1」の形を台形と捉える児童が多いですが、形を暗記するのではなく、台形という図形の意味を理解する必要があります。そのためには、どうしてその形が台形となるのかということを子どもたちが説明する学習活動が大切になります。

2 教科別分析（小学校 理科）



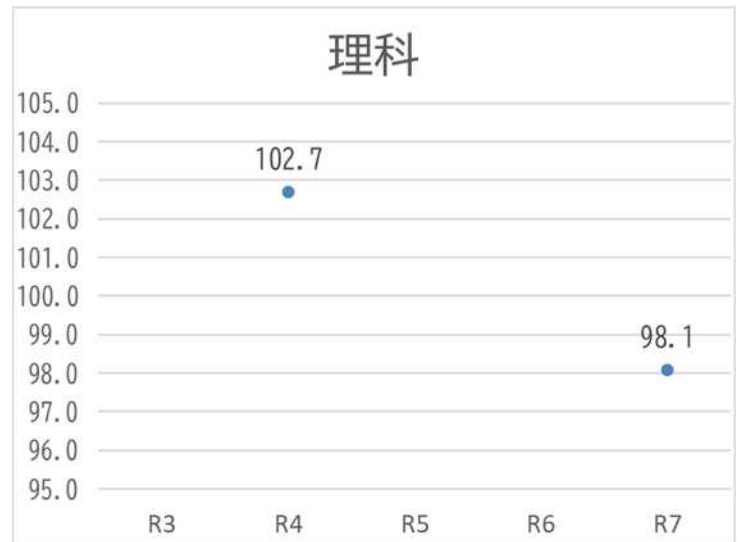
小学校理科の平均正答率は56%で全国を1.1ポイント下回る結果でした。
全国と比べると結果の散らばりがみられ、学力層のD層の割合が高くなっています。
また、領域別においては粒子の正答率が大きく下がっています。

(1) 正答数分布



R7	四日市市	全国
平均正答率	56	57.1
中央値	10.0	10.0
標準偏差	4.0	3.8

(2) 全国値を100としたときの本市正答率の推移



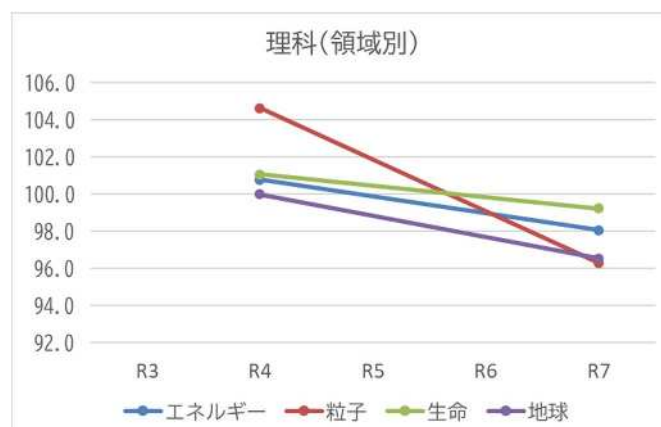
(3) 本市の学力層(四分位)の結果



(4) 学習指導要領の領域別正答率推移

領域	R3	R4	R5	R6	R7
エネルギー	—	100.8	—	—	98.1
粒子	—	104.6	—	—	96.3
生命	—	101.1	—	—	99.2
地球	—	100.0	—	—	96.6

全国値: 100



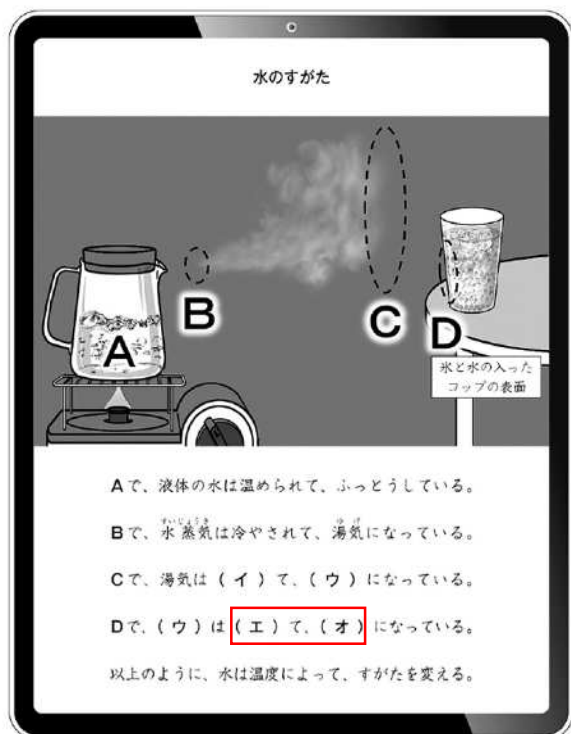
(5) 調査問題の結果から課題が見られた問題

大問 4 (2)	水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる問題
エ・オ	

正答率	
全国	57.5
四日市市	53.2

全国比-4.3 ポイント

ひろみさんたちは、水のすがたに関する学習をまとめています。



左の図の（イ）から（オ）の中にあてはまるものを、下の 1 から 2 の中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- （イ）
- 1 蒸発し
 - 2 ふっとうし
 - 3 温められ

- （ウ）
- 4 水蒸気
 - 5 液体の水
 - 6 氷

- （エ）
- 7 蒸発し
 - 8 温められ
 - 9 冷やされ

- （オ）
- 10 水蒸気
 - 11 液体の水
 - 12 氷

【誤答例】

水蒸気が氷と水の入ったコップの表面で冷やされることは理解できているが、冷やされた結果、どのように状態変化するかについて答えられない。

【水の状態変化の概念的理解】

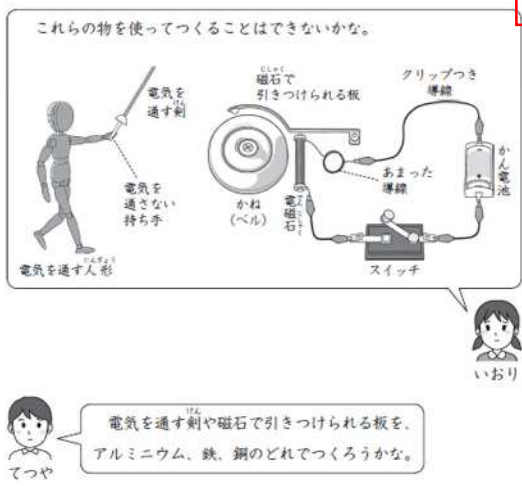
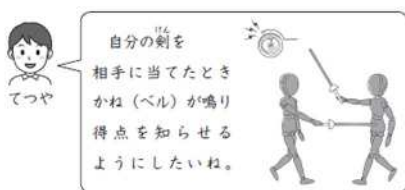
習得した個別の知識を概念的に理解するためには、学習内容を他の学習や生活と関連付けることが大切です。加熱をしなくても水が蒸発する場面を生活の中から探したり、低い温度で水が蒸発する場面と沸騰で蒸発する場面との違いや共通点を整理したりすること、寒い日の窓に結露が生じる原因を考えることなどを通して、水の状態変化について概念的に理解することが必要です。

大問 2 (1)	身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる問題
----------	---

正答率	
全国	10.6
四日市市	8.8

全国比-1.8 ポイント

てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話しています。



(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 鉄
- アルミニウム
- 銅
- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
 - 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
 - 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
 - 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

【誤答例】

アルミニウム、鉄、銅のいずれかに、選択肢 3 または 4 と回答している。

【実験等を通じた知識の習得】

図や説明から回路の状況を把握し、アルミニウム・鉄・銅の性質を理解しているかが問われる問題です。

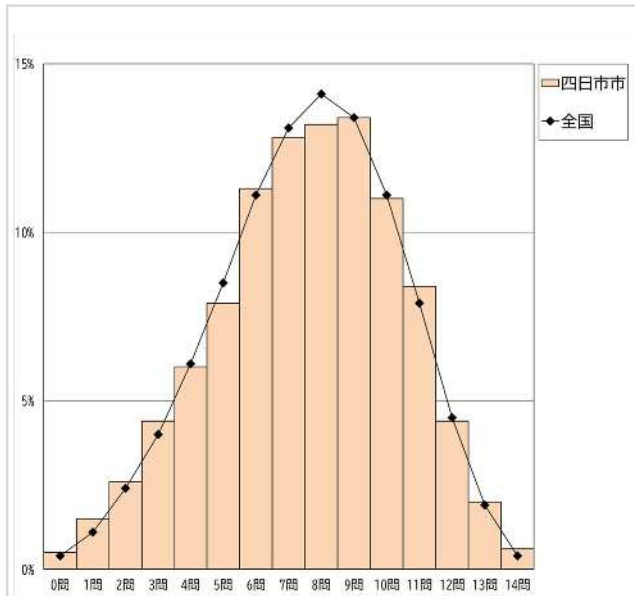
身の回りの金属について、単純に知識として覚えるのではなく、実験などを通じて磁石に引きつけられるか、電気を通すかを思考錯誤する中で、知識として身につけていくことが必要です。

2 教科別分析 (中学校 国語)



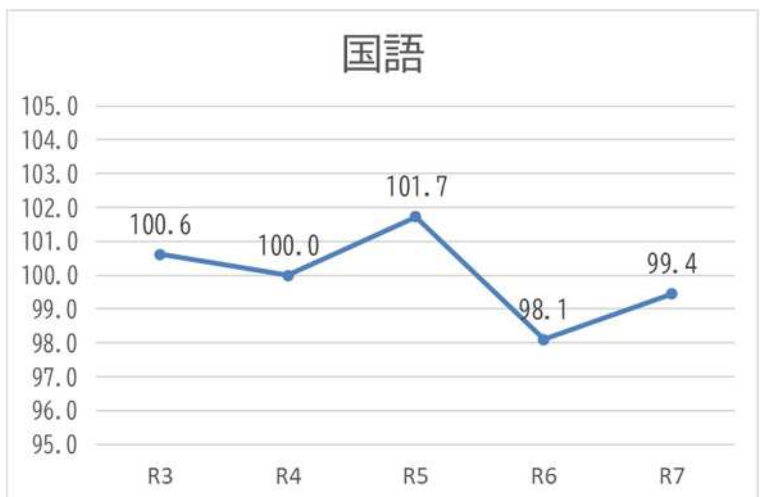
中学校国語の平均正答率は54%で全国と同等の結果でした。
標準偏差が全国と比べると0.1高いことから、やや結果の散らばりがみられました。学力層についてもA層、D層の割合がやや高く、学力層の2極化傾向が見られます。
領域別においてはすべての正答率が上がっています。

(1) 正答数分布

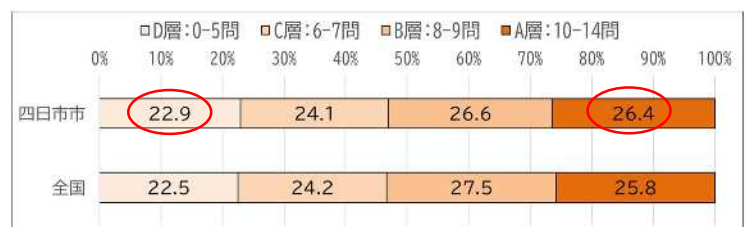


R7	四日市市	全国
平均正答率	54	54.3
中央値	8.0	8.0
標準偏差	2.8	2.7

(2) 全国値を100としたときの本市正答率の推移



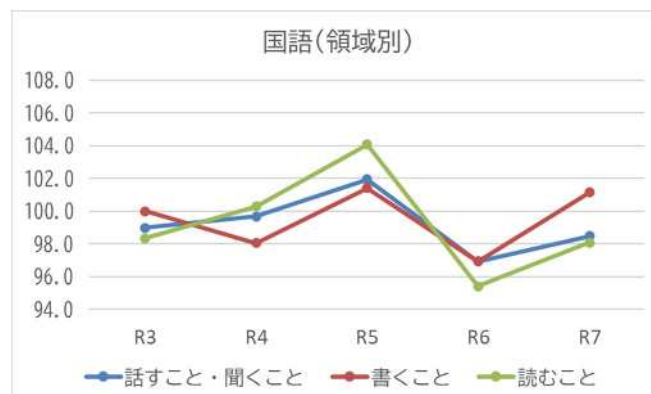
(3) 本市の学力層(四分位)の結果



(4) 学習指導要領の領域別正答率推移

領域	R3	R4	R5	R6	R7
話すこと・聞くこと	99.0	99.7	101.9	96.9	98.5
書くこと	100.0	98.1	101.4	96.9	101.1
読むこと	98.4	100.3	104.1	95.4	98.1

全国値: 100



(5) 調査問題の結果から課題が見られた問題

問題	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題
大問 3 四	

正答率	
全国	17.1
四日市市	16.7

全国比-0.4 ポイント

【誤答例】

文章の展開の効果について書くことはできているが、理由を書く際、物語の内容を取り上げているものの、本問で着目している展開を踏まえて書くことができていない。

【表現の効果・意見と根拠】

表現の効果については、表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを考えることが重要です。その際、自分の考えを支える根拠となる段落や部分を挙げるなどして、根拠を明確にすることが大切になります。

(読解力を育む「20の観点」
⑦意見と根拠)

③ ②について、物語の内容を適切に取り上げて書いている。

(正答の条件)
① どのような効果があるかを書いている。
② ①のように考えた理由を、「二つの兄弟」の部分のような「あとに続く話」が、「一棟木の実」はあるが、「二つの話」にはない」という展開を踏まえて書いている。

③ ②について、物語の内容を適切に取り上げて書いている。

問題	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができかどうかをみる問題
大問 2 一	

正答率	
全国	38.1
四日市市	36.7

全国比-1.4 ポイント

- ② 村田さんは、国語の時間に、学校の活動を地域に広げるアイデアについてスピーチをする学習に取り組んでいます。村田さんは、青木さんとあなたにスピーチのリハーサルをしてもらい、助言を求めています。次の【村田さんのスピーチ】と、〈スライド①〉から〈スライド②〉までを読んで、あとの問いに答えなさい。

【村田さんのスピーチ】

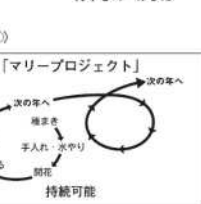
私は、「マリープロジェクト」をもとにしたアイデアを考えました。
「マリープロジェクト」は、皆さんも知っているとおり、環境委員会が参加者を募って行っている、マリーゴールドを育てる活動です。参加したことがない人も、登下校のとき、きれいに咲いたマリーゴールドの花に、心が和んだこともあるのではないのでしょうか。マリーゴールドは、苗から育てることが多いのですが、この活動では、採取した種から育てています。

ここで、〈スライド①〉を提示

スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。咲いた花を楽しむだけでなく、手入れをしながら成長を見守ることに魅力を感じ、私は、1年生のときからこの活動に参加しています。

ここで、〈スライド②〉を提示

これは、実際に採取したマリーゴールドの種です。次のシーズンに学校で育てる分を確保したあと、家で育てたい参加者は種をもらって帰ります。私も、種をもらって、家族と一緒に育てています。ただ、



話の補足内容を入れている

【誤答例】

解答1の選択

村田さんのスピーチの内容を要約したものがスライド①に示されていると誤って捉えてしまった。また、村田さんが、意見とそれを支える根拠が聞き手の印象に残るように話していると誤って捉えてしまった。

【表現の工夫】

相手に伝えたい内容を適切に伝えるためには、目的や状況、相手に応じて、話す内容を考え、聞き手の理解をより深められるようにすることが大切です。どのような資料や機器を、どのように用いればより相手に伝わるか、話し方を工夫する力をつけることが必要になります。(読解力を育む「20の観点」⑫表現の効果)

- 一 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の——線部②「スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。」のように、スライドを使って話しています。このときの村田さんの話し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- ① 聞き手の印象に残るように、スライドで意見だけを要約して示しながら、意見とそれを支える根拠を話している。
- ② 聞き手によって経験が違うことを考慮して、スライドで補足の情報を示しながら、話の要点を絞って話している。
- ③ 聞き手が興味をもつように、スライドで異なる視点からの情報を示しながら、自分の主張を繰り返し話している。
- ④ 聞き手からの質問を想定して、スライドで質問に対する回答を示しながら、自分の立場と考えを話している。

2 教科別分析 (中学校 数学)

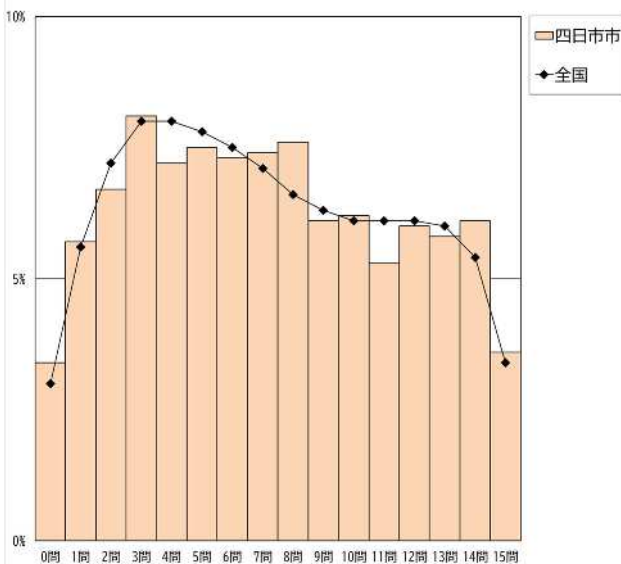


中学校数学の平均正答率は49%で全国を上回る結果でした。

学力層については全国とほぼ同等になっています。

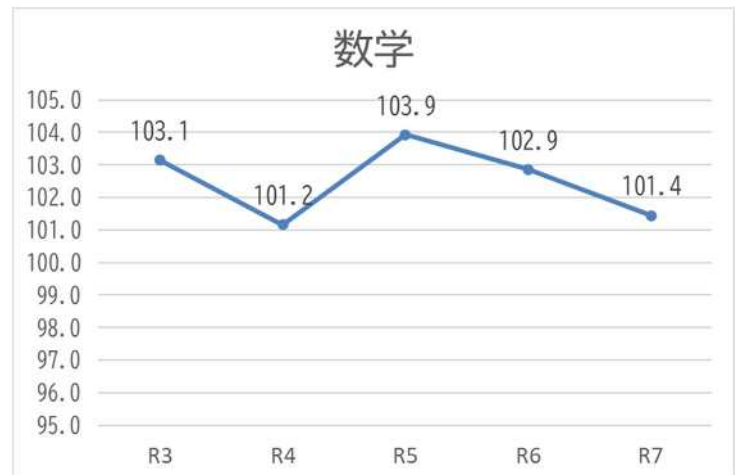
領域別においては数と式、データの活用の正答率が下がり、図形と関数の正答率が上がりました。

(1) 正答数分布



R7	四日市市	全国
平均正答率	49	48.3
中央値	7.0	7.0
標準偏差	4.3	4.2

(2) 全国値を100としたときの本市正答率の推移



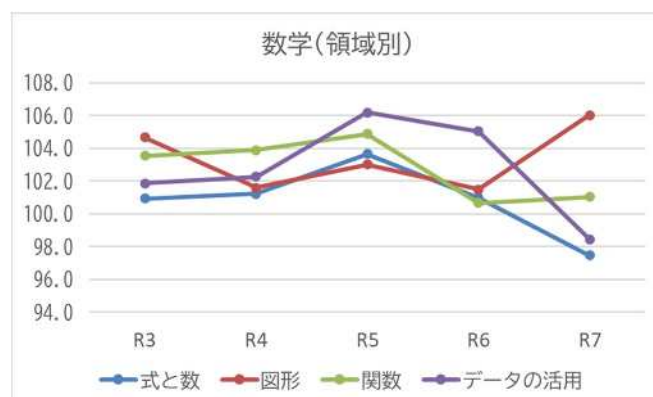
(3) 本市の学力層(四分位)の結果



(4) 学習指導要領の領域別正答率推移

全国値: 100

領域	R3	R4	R5	R6	R7
数と式	100.9	101.2	103.7	101.0	97.5
図形	104.7	101.6	103.0	101.5	106.0
関数	103.5	103.9	104.9	100.7	101.0
データの活用	101.9	102.3	106.2	105.0	98.5



(5) 調査問題の結果から課題が見られた問題

問題	相対度数の意味を理解しているかどうかをみる問題
大問 5	

正答率	
全国	42.5
四日市市	39.7

全国比－2.8 ポイント

- 5 下の表は、ある学級の生徒 40 人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表です。

ハンドボール投げの記録

階級 (m)	度数 (人)
以上 未満	
5 ～ 10	3
10 ～ 15	8
15 ～ 20	9
20 ～ 25	10
25 ～ 30	6
30 ～ 35	3
35 ～ 40	1
合計	40

【誤答例】

「10」と解答する生徒がおり、階級の相対度数と階級の度数を混同している。

【「相対度数」等の用語の意味と必要性の理解】
データを考察するときには、度数分布表やヒストグラムなどを用いて、データの特徴や分布の傾向を読み取ります。

相対度数については、単純に用語として覚えるのではなく、「異なる資料の比較ができること」や「資料の全体像を把握しやすいこと」など、その必要性和意味を理解しながら学習することが大切です。

20 m 以上 25 m 未満の階級の相対度数を求めなさい。

力をつけることが 必要な問題	素数の意味を理解しているかどうかをみる問題
大問 1	

正答率	
全国	31.8
四日市市	27.3

全国比－4.5 ポイント

- 1 下の 1 から 9 までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 (2) (3) 4 (5) 6 (7) 8 9

【誤答例】

「1」を選択する生徒が全体の 5.2% 程度おり、「1」は素数に含まれると捉えている。

【具体的な活用場面を通じた知識の習得】

素数について理解することは、算数で学んだ「約数」、「倍数」などの整数の性質を捉え直す際や、数学での「平方根」などの学習場面に必要です。

「1 より大きい自然数の中で 1 とその数以外に約数をもたないもの」が素数であることを、具体的な数を用いながら理解することが必要です。

2 教科別分析（中学校 理科）



本年度の中学校理科は IRT 方式で調査をしています。

IRT とは国際的な学力調査（PISA、TIMSS など）や英語資格・検定試験（TOEIC・TOEFL など）で採用されているテスト理論です。この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較できます。

調査は、公開問題（10問）と非公開問題（16問）を組み合わせで出題され、実施日等により異なる問題が出題されます。

公 開 問 題		非 公 開 問 題
全日程に共通する問題 6 問	実施日により異なる問題 4 問	16 問

中学校理科の平均 IRT スコアは500となっており、基準的な数値となっていますが、全国と比較すると低くなっています。

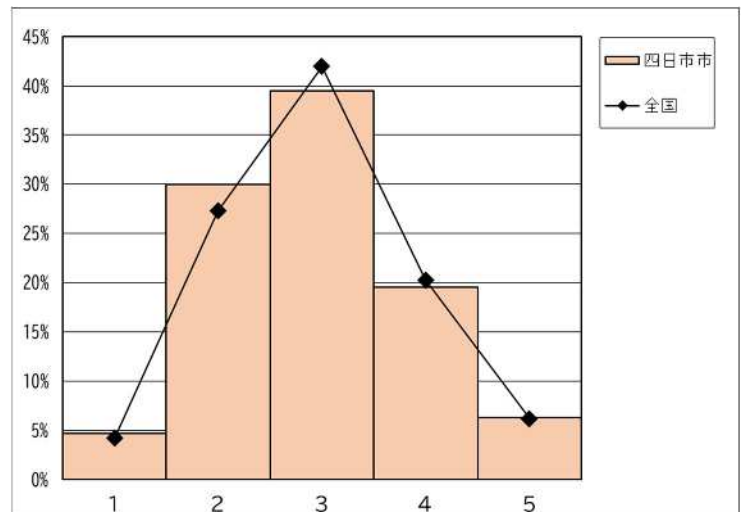
IRT スコア分布グラフ及び IRT バンド分布比較を見ると、全国と比較してスコア2の割合が高いです。

(1)IRT スコア

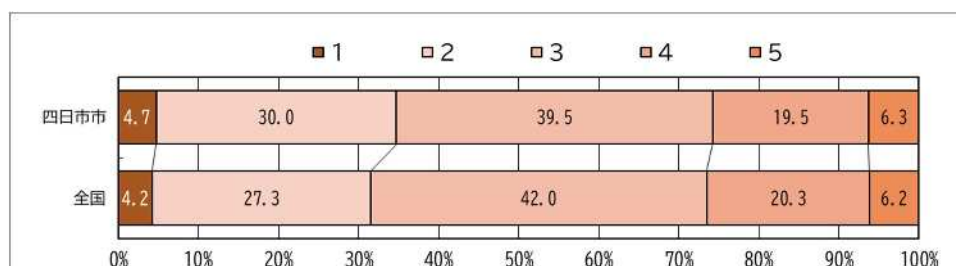
R7	四日市市	全国
平均 IRT スコア	500	503
標準偏差	130.9	124.0

※ IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点に表すものです。

(2)IRT スコア分布グラフ(横軸:IRT バンド 縦軸:割合)



(3)IRT バンド分布比較



※「IRT バンド」とは IRT スコアを1～5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

(4) 調査問題の結果から課題が見られた問題(全日程に共通する問題より)

大問 1 (2)	身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる問題	正答率	
		全国	46.2
1		四日市市	40.9

1

埋料の実験で使用する水について考える

埋料の実験で使用する水は精製水です。精製水について、調べたことを発表しましょう。

精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりすることによってつくった水です。

精製水は、右図のように水道水に電熱線を入れて水を加熱し、蒸留する方法でつくられることが多いです。

電気エネルギーを利用して水を加熱しているんですね。水は温まりにくいから、効率よく温める工夫が必要ですね。

より速く水を温めるには、**電熱線をどのようににつなげたらよいでしょうか。**、右の装置で考えてみましょう。

同じ電圧を加えたとき、回路全体の抵抗がどうなるかを考えれば分かりそうです。

装置 1

装置 2

10 10の電熱線
50 50の電熱線

全国比-5.3ポイント

深田も記述する



Aさん

【Aさんの疑問】
理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？

【Aさんの疑問】を調べたり、実験を行ったりして解決するために、どのような課題にすればよいですか？



Aさん

深田は、
() にもしようと思います。



Aさん

【Aさんの疑問】を解決するために、() に適切な課題を書きなさい。

課題

【自ら課題を設定する】

ここでは、見いだした問題を解決するための課題を設定する力が問われています。この力をつけるためには、生徒が課題を設定し、探究したことをまとめ、振り返る学習を行うことが大切です。その際に、これまで学習した知識を活用し、身近な自然の事物・現象について多面的、総合的に捉え、思考することが必要になります。

大問 1 (3)	露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる問題	正答率	
		全国	36.2
		四日市市	34.9

全国比-1.3 ポイント

水漏れの水はどのような水を利用していいか。

水漏れは河川の水、雨水などが
地層を透ってしみ出した水を
利用しています。

雨水などが地層を透ってしみ出した
水を調べてみたいですね。

この地域に震災から水がしみ出ている
ところがあります。調べに行きましょう。

地層の項目から水が
しみ出ているか。

地層の性質と関係が
あるのかな。
それぞれの地層を
観察してみよう。

地層1
地層2
地層3
地層4

うめの目撃めと真しように
変えるようにですね。

1 2 3 4

写真1

大きな石で構成
され、
石と石の間に
すき間があるので、
水は通がける。

れきの層

(3)

下層の水がしみる位置として層も違ひなもの。図の [] の中から1つ選がなさい。

① 最大1個選択できます

【地層の項目から水のしみ出ている箇所】

地層1	<input type="text"/>	誤答
地層2	<input type="text"/>	
地層3	<input type="text"/>	
地層4	<input type="text"/>	

誤答

正答

誤答

【誤答例】

- ・「水が通り抜ける」とあるため地層1を通りぬけて水が染み出ると考えてしまっている。
- ・「すき間が観察されなかった地層3における粒の大きさと水の染み込み方を正しく解釈することと、地層3の観察結果と水が染み出す位置を適切に関連付けて捉えることができていない。

【学習した知識を関連付ける】

本問では、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈することが大切になります。単に知識として覚えるだけでなく、実験を通して見いだしたことと実際の地層とを関係付けて解釈したり、実験を通して分かったことなどを知識と関連付けて説明したりするなどの学習活動が大切です。

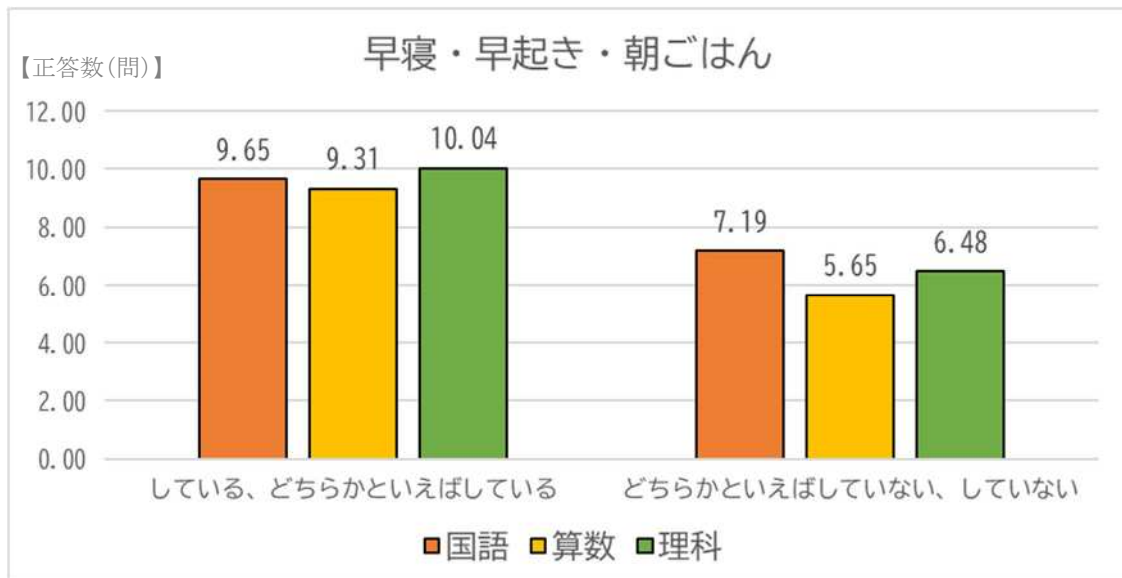
3 四日市市の児童生徒質問紙調査の結果より

(1) 生活習慣・学習習慣

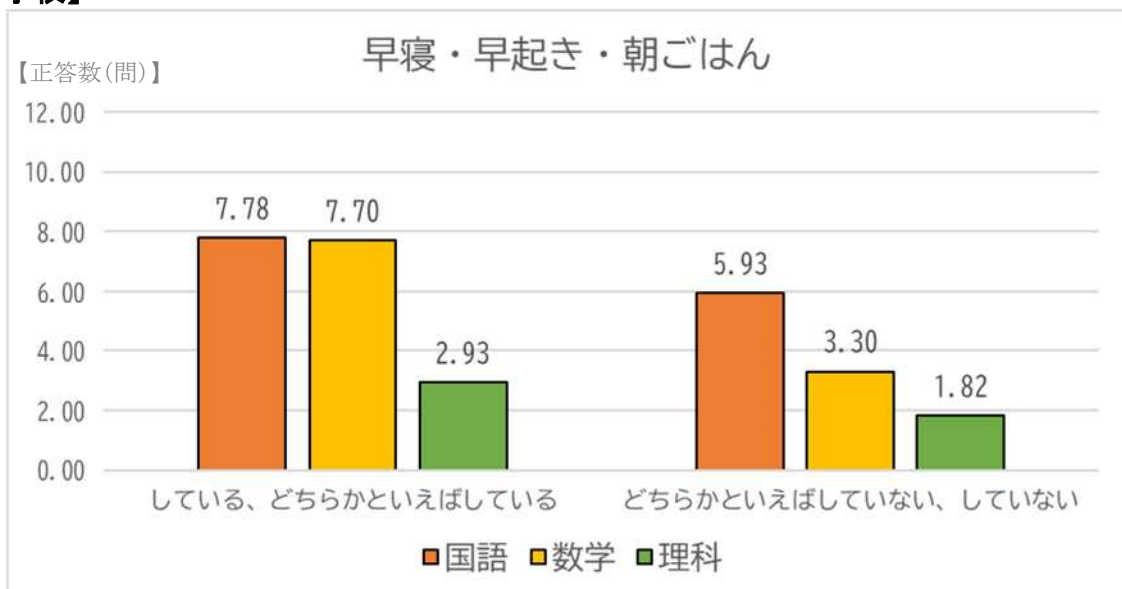
早寝・早起き・朝ごはんの3点セットは学力向上にもつながっていることが分かったよ。



【小学校】



【中学校】



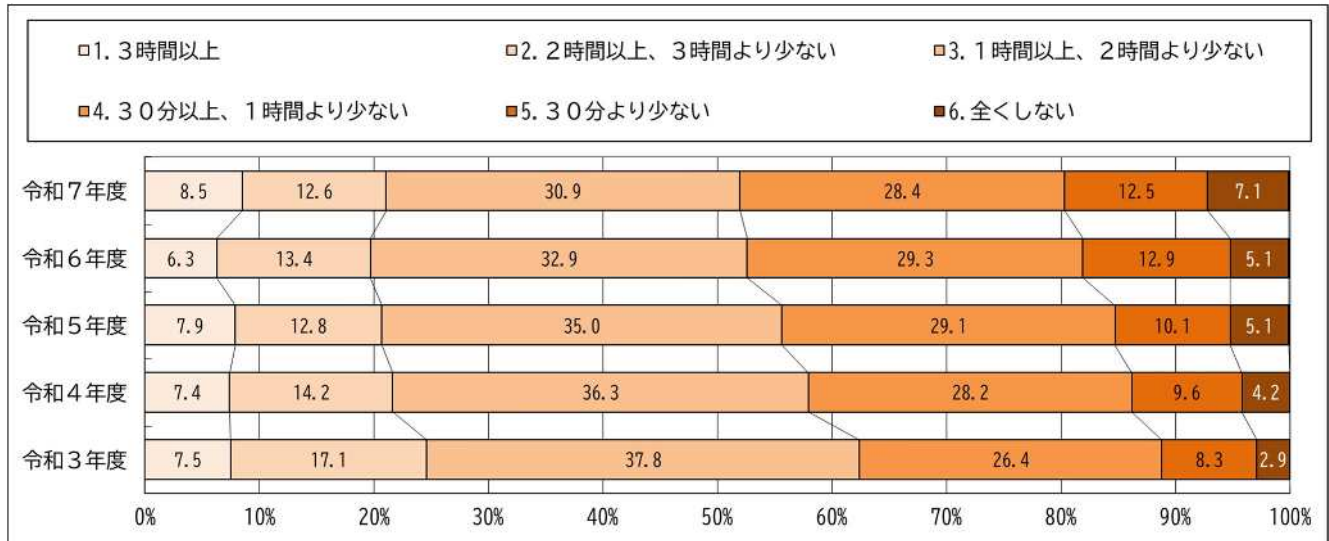
「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問に対し、「すべて肯定的回答」「すべて否定的回答」している児童生徒の各教科の平均正答数を算出しました。その結果、早寝・早起き・朝ごはんを行っている児童生徒の国語・算数・理科の正答率は約1.3倍以上高い傾向が見られました。



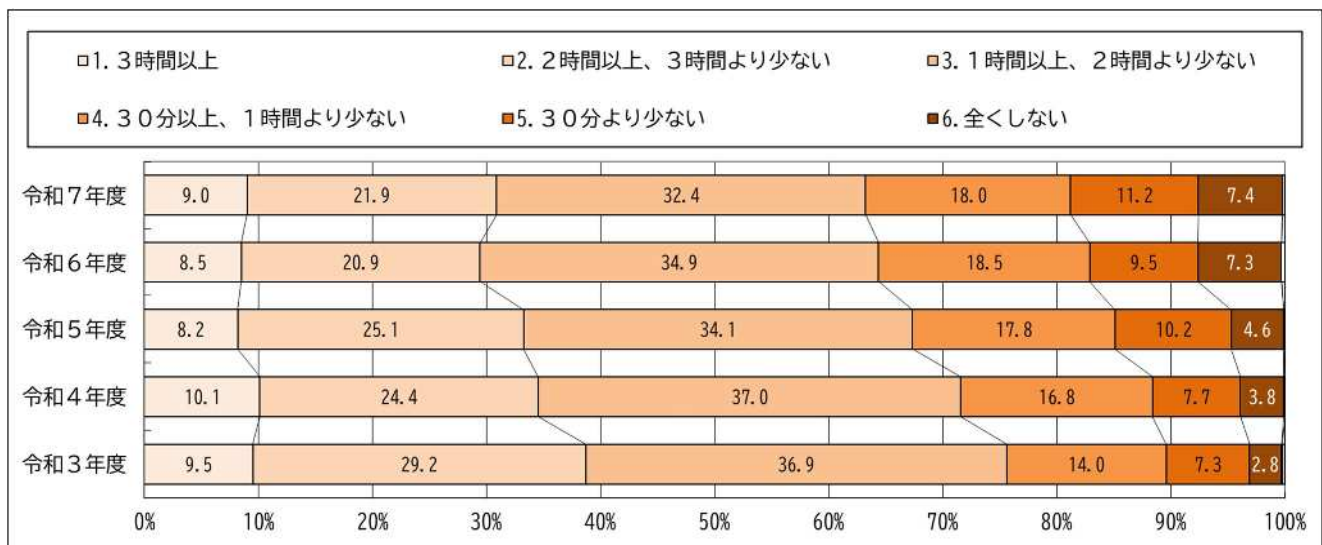
授業以外にも、自分で勉強を進められるようになることが大切だね。



【小学校】



【中学校】



「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」の質問に対する回答の推移をみると、年々、授業以外の学習時間が減っています。

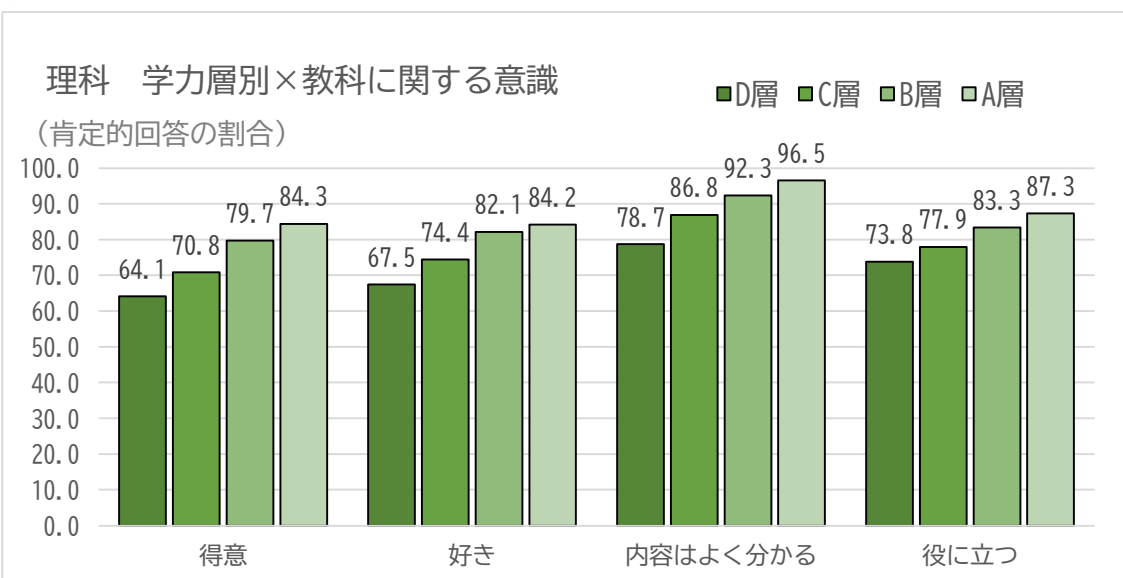
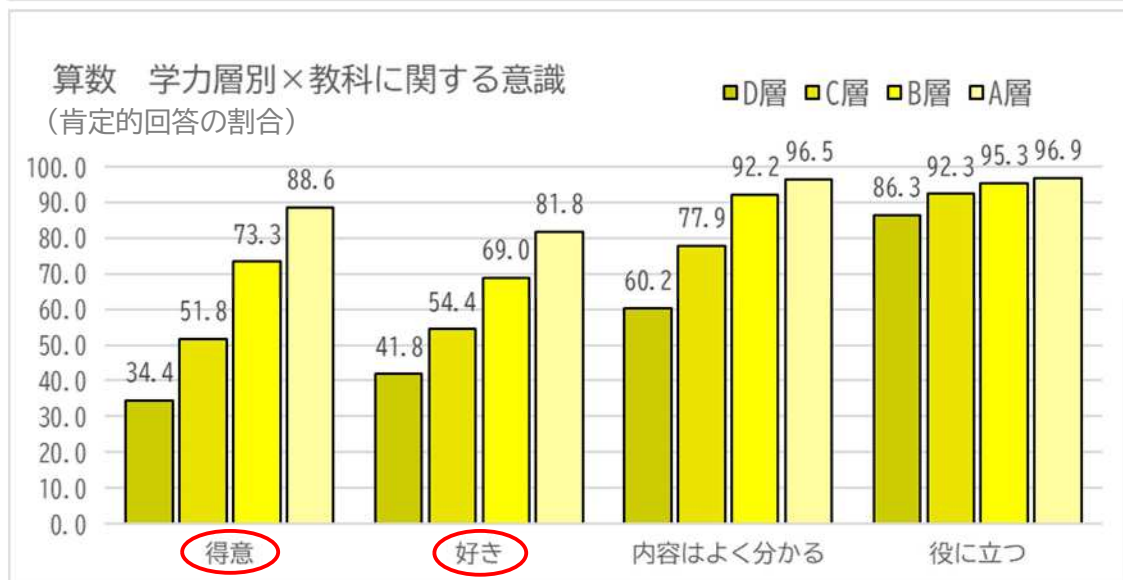
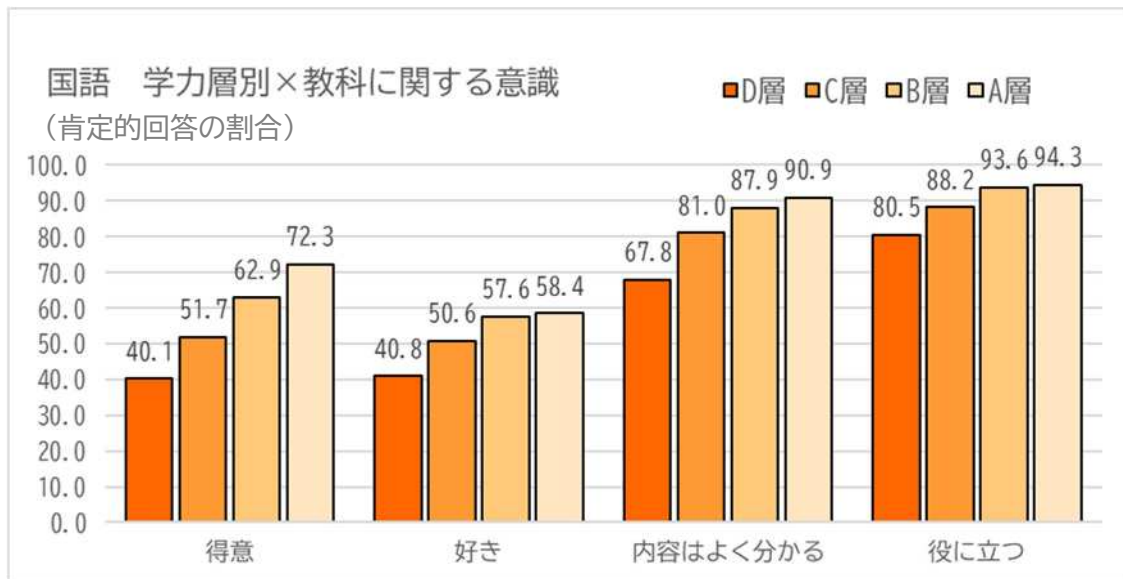


(2) 学力層と教科に関する意識の関係

教科の「得意」・「好き」と学力は関連しているね。



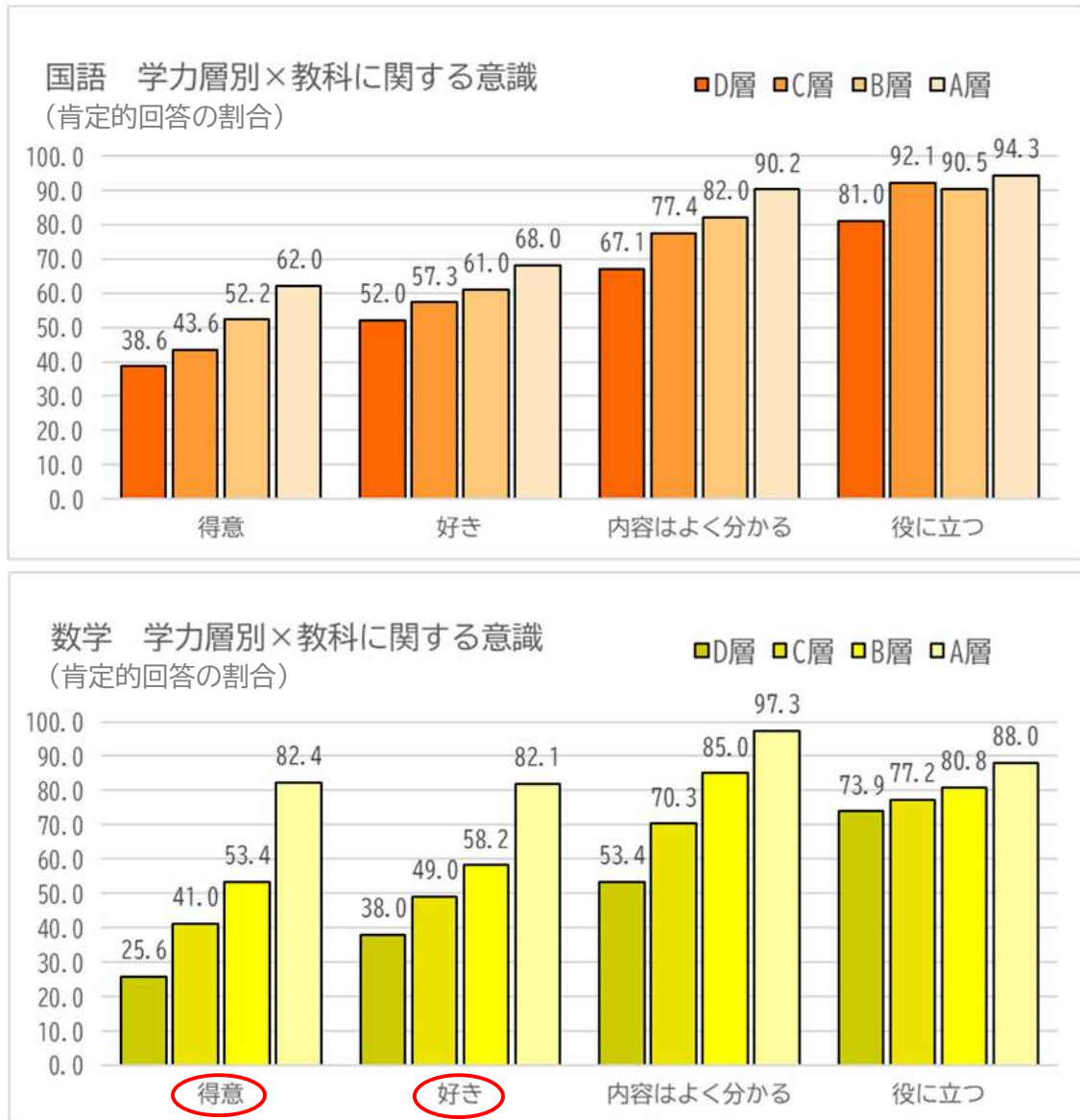
【小学校】



それぞれの教科が「得意」・「好き」になるためには、それぞれの教科を学ぶ楽しさを見つけられるといいね。



【中学校】



教科とそれに関連する質問項目を学力層（A～D層）ごとに比較しています。特に算数・数学のA層とD層を比較すると、「得意」「好き」と回答している児童生徒の差が大きくなっています。

すべての教科において、「役に立つ」の質問項目でA層とD層の差が小さい結果となりました。



(3) ICT の活用状況

みんなの ICT 活用頻度は、どんどん増えているよ。



○授業の中で、1週間に3日以上PC・タブレットなどのICT機器を使用している児童生徒の割合。

【小学校】	R6	R7	経年比較
四日市市	58.3	78.5	+20.2
全国	59.5	71.7	+12.2
全国との比較	-1.2	+6.8	

【中学校】	R6	R7	経年比較
四日市市	75.9	83.4	+7.5
全国	64.4	76.5	+12.1
全国との比較	+11.5	+6.9	

基本的なICTスキルは身につけてきているね。それを使って、相手にわかりやすく伝えることができるようになりたいね。



○ICT活用に係る質問に対して肯定的に回答した児童生徒の割合。赤：全国値より低い 青：全国値より高い

【小学校】	R6	R7
①文章を作成することができる	—	83.0 (81.8)
②インターネットで情報収集することができる	—	89.9 (89.8)
③図・表・グラフ、思考ツールなどで情報を整理することができる	—	72.4 (69.3)
④プレゼンテーションを作成することができる	—	76.0 (76.7)
⑤自分のペースで理解ながら学習を進めることができる	84.5 (85.5)	79.9 (81.3)
⑥分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	91.8 (92.1)	89.1 (89.2)
⑦楽しみながら学習を進めることができる	83.4 (86.0)	83.0 (85.5)
⑧画像や動画、音声等により学習内容がよく分かる	89.4 (89.8)	87.9 (88.1)
⑨自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	76.7 (79.2)	77.5 (77.6)
⑩友だちと考えを共有したり、比べたりしやすくなる	87.0 (86.1)	85.1 (84.6)
⑪友だちと協力しながら学習を進めることができる	88.5 (87.1)	87.9 (87.5)

【中学校】	R6	R7
①文章を作成することができる	—	84.9 (83.6)
②インターネットで情報収集することができる	—	91.6 (91.5)
③図・表・グラフ、思考ツールなどで情報を整理することができる	—	64.0 (63.3)
④プレゼンテーションを作成することができる	—	74.0 (76.6)
⑤自分のペースで理解ながら学習を進めることができる	82.6 (80.2)	78.3 (78.1)
⑥分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	94.9 (93.9)	94.3 (93.1)
⑦楽しみながら学習を進めることができる	81.6 (82.4)	83.7 (85.5)
⑧画像や動画、音声等により学習内容がよく分かる	89.2 (89.0)	89.8 (89.0)
⑨自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	80.1 (77.7)	82.9 (80.3)
⑩友だちと考えを共有したり、比べたりしやすくなる	87.2 (86.2)	86.0 (84.8)
⑪友だちと協力しながら学習を進めることができる	86.6 (85.2)	86.7 (85.4)

※R7 中学校⑤～⑪については、悉皆式ではなくランダム式による抽出での回答となるため参考値。

授業の中でのICT活用頻度は、令和6年度と比較すると、小中学校ともに上がっています。また、こどもたちのICTスキルについては、全国と比較すると中学校においておおむね高くなっています。今後も、個別最適な学びにつながるICTの効果的な活用を進めていく必要があります。

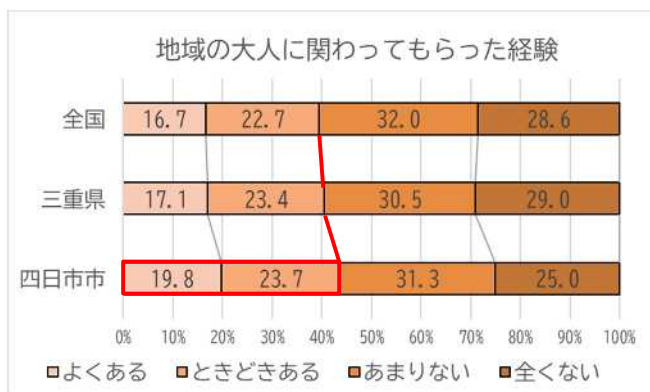


(4) 地域との関わり

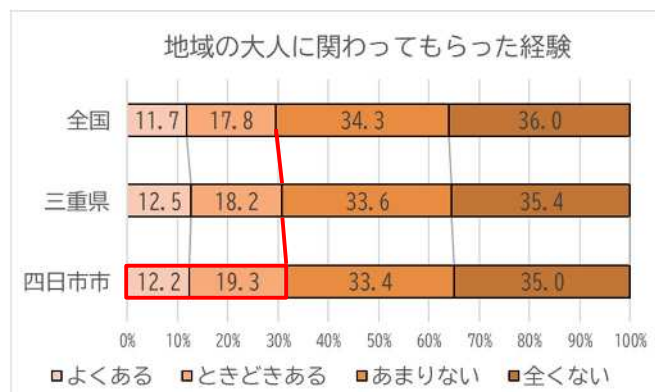
地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでももらったりすると、子どもたちは地域や社会に貢献してみたいと思うんだね。



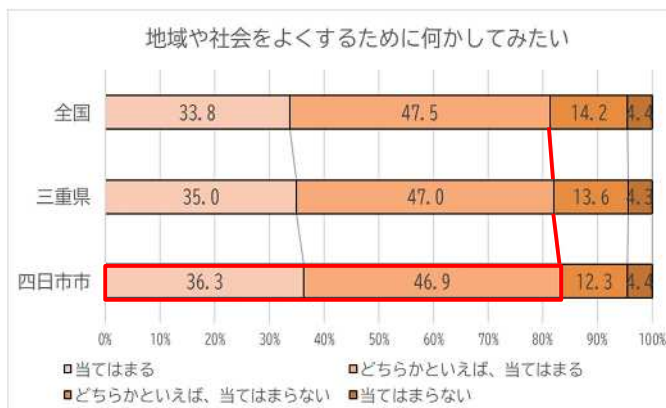
【小学校】



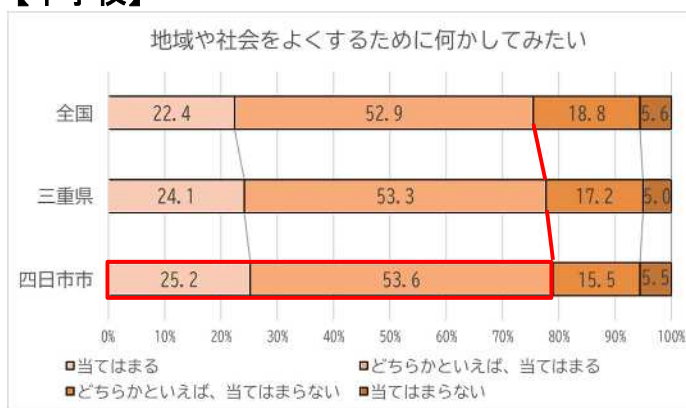
【中学校】



【小学校】



【中学校】



「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでももらったりすることがありますか（習い事は除く）」の質問において、四日市市の子どもたちは全国や三重県に比べて肯定的な回答をする割合が高いです。

また、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に対しても、四日市市の児童生徒は全国や三重県と比べて肯定的に回答しており、地域社会に貢献したいという思いにつながっています。



(5) 児童生徒のウェルビーイング

ウェルビーイングとは

- ◆ 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを言い、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- ◆ 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、個人や取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態であることも含む包括的な概念。

子どもたちの安心できる環境を作ることが、ウェルビーイングにつながるよ。



赤：全国値より低い
青：全国値より高い

質問項目(主観的幸福感)	小学校	中学校
(15) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	小：92.6 (全国：93.0)	中：92.6 (全国：91.6)
(12) 学校に行くのは楽しいと思う	小：84.7 (全国：86.5)	中：89.4 (全国：86.1)

質問項目	小学校	中学校
(14) 友だち関係に満足している	小：91.5 (全国：91.7)	中：93.0 (全国：91.4)
(05) 自分には、よいところがあると思う	小：83.8 (全国：86.9)	中：87.8 (全国：86.2)
(06) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	小：92.3 (全国：92.2)	中：94.3 (全国：92.2)
(38) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	小：88.6 (全国：87.4)	中：85.0 (全国：83.8)
(10) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	小：68.9 (全国：70.6)	中：74.5 (全国：73.2)

児童生徒質問紙調査の結果から、四日市市の先生は丁寧に子どもたちに関わっていることがわかります。

多様な子どもたちに対して、状況に応じた対応をすることで、安心できる環境づくりを進めることができます。



(6) 自己肯定感に関わる意識

家庭や地域と協力し、就学前～学校教育を通して、子どもたちの自己肯定感を高めていくことが、子どもたちのよりよい成長につながるね。



赤：全国値より低い
青：全国値より高い

自己受容

質問項目	小学校	中学校
自分には、よいところがあると思う	小：83.8 (全国：86.9)	中：87.8 (全国：86.2)

自己有用

質問	小学校	中学校
人の役に立つ人間になりたいと思う	小：96.7 (全国：96.4)	中：96.3 (全国：96.6)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	小：83.2 (全国：81.3)	中：78.8 (全国：75.3)

自己効力

質問	小学校	中学校
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	小：82.8 (全国：81.7)	中：82.5 (全国：77.5)
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	小：84.3 (全国：84.9)	中：86.4 (全国：84.7)
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	小：78.6 (全国：79.4)	中：77.4 (全国：73.4)

他者信頼

質問項目	小学校	中学校
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	小：68.9 (全国：70.6)	中：74.5 (全国：73.2)
先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う	小：92.3 (全国：92.2)	中：94.3 (全国：92.2)
友達関係に満足している	小：91.5 (全国：91.7)	中：93.0 (全国：91.4)

他者肯定

質問項目	小学校	中学校
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	小：88.6 (全国：87.4)	中：85.0 (全国：83.8)
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	小：91.7 (全国：91.9)	中：91.4 (全国：91.9)

自己肯定感を支えるため、四日市市では、「四日市市で育む3つの非認知能力（自分と向き合う力・自分を高める力・他者とつながる力）」を育成していく取り組みを進めています。



次ページからは、令和7年度全国学力・
学習状況調査問題を活用した授業づくり
について紹介します。



「全国学力・学習状況調査」を活用した授業づくり

「全国学力・学習状況調査」は、子どもたちが問題を解くだけでなく、出題された問題を教師が分析し、授業の改善・充実を図ることで、子どもたちにとって必要な力を育むことができます。

本年度も、調査問題の出題の趣旨等から授業改善を図ることができるよう、活用のための視点を示した、『全国学力・学習状況調査』を活用した授業づくりを作成しました。

調査の対象となる学年(小6・中3)だけでなく、他の学年での授業づくりについても紹介していますので、学校全体で組織的・継続的に授業改善等に取り組んでください。



☆学力戦隊☆ マナブンジャー

～ 調査問題を活用した授業づくり～

出題の趣旨
⇓
求められる資質・能力

⇓

《授業づくりのPOINT》

「☆学力戦隊☆マナブンジャー」は学力向上のヒーローが「令和7年度全国学力・学習状況調査」の問題を教科ごとに分析し、これからの授業づくりのポイントについて示しています。

各教科の「授業づくりの資料」を参考に、他の問題も分析し、今後の授業改善・充実に活用してください。







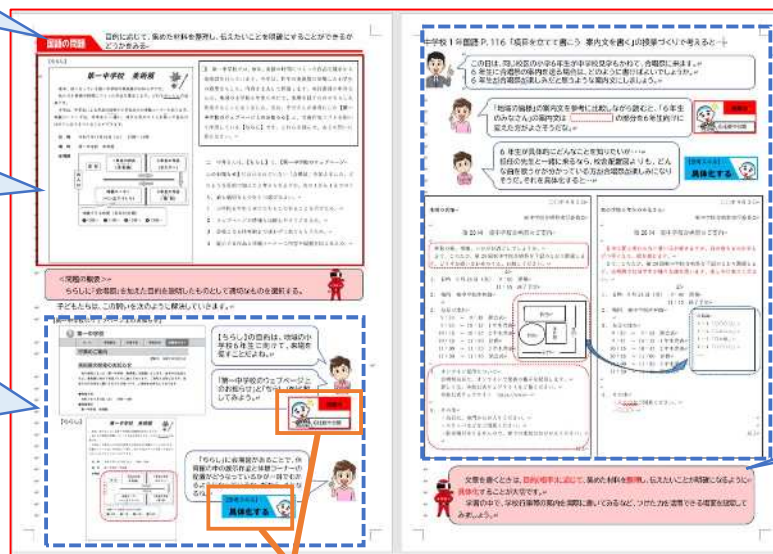

小理パープル
小算ブルー
小国イエロー
中国レッド
中数グリーン
中理ブラック

【「授業づくりの資料」の構成は以下のようになっています】

調査問題の趣旨

ピックアップした
調査問題

問題を解く時の
子どもの思考



問題を解く力を子どもにつけるための授業例
(現行の教科書の教材からピックアップしています)

授業づくりのポイント

読解力については、学校・園データベース上にある「読解力を育む20の観点【小学校版】」、「読解力を育む20の観点【中学校版】」、思考スキルについては、19ある「思考スキル」から、子どもたちが問題を解く時に使っているものをピックアップしています。

出題の趣旨 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。

国語の問題

国語 1 バスの運転士にインタビューをする

- 二 【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別している。
 - 2 質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理している。
 - 3 質問する内容を短い言葉で書き、線でつなぐことで質問を一つにしばっている。
 - 4 質問する内容をできるだけ詳しく書き、多くの質問ができるようにしている。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだよな。

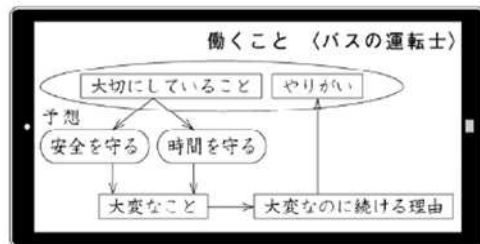
小森さん 確かに、大変そうだね。【仕事で大切にしていること】で話してくれたことをきつかけにして、【仕事で大変なこと】を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思ってはいたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん さつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でもいいかな。



<問題の概要> 【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する問題

子どもたちは、この問いを次のように解決していきます。

話し合いの様子から、図に要点を書き出してみただね。



「大切にしていること」「やりがい」が質問したい内容だね。



話し合いの様子の要点を、流れに沿って整理すると図のようになるんだね。だから答えは2になるよ。



【思考スキル】
関係づける

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだよな。

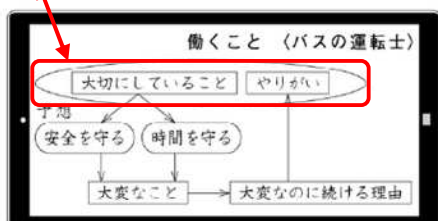
小森さん 確かに、大変そうだね。【仕事で大切にしていること】で話してくれたことをきつかけにして、【仕事で大変なこと】を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思ってはいたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん さつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でもいいかな。



～ 小学校5年「問題を解決するために話し合おう」の授業づくり ～

東京書籍「新しい国語」5年 P.118～



クラスの読書量を増やすためにはどうしたらいいでしょうか。



私たちのグループは色々な取り組みを出し合ったよ。それをどうやって整理して、まとめていくのかな…。

意見を分類して、同じような取り組みをまとめてみるのはどうかな。



クラスの読書量を増やすために			
まとめ	①本をしょうかいする	②本を読む時間を決める	③教室に本を置く
取り組み	<p>おすすめする本を日直が朝の会でしょうかいする。</p> <p>クラスの人に興味を持ちそうな本を図書室で借りてきてしょうかいする。</p> <p>司書さんに本をしょうかいしてもらう。</p>	<p>朝学で読書タイムを作る。</p> <p>宿題で読書をする。</p>	<p>教室に新しい本を置く。</p> <p>家からおすすめの本を持ってくる。</p>



同じような取り組みごとに整理することができたよ。
①本をしょうかいする ②本を読む時間を決める ③教室に本を置くに、まとめることができたよ。

【思考スキル】

関係づける



読解力

⑪要点
具体と抽象



整理した中で、より読書量を増やす取り組みはどれだろう？



朝の会で、日直が「おすすめ本」のしょうかいをすると、みんなが本に興味をもつと思うよ。

そうだね。その「おすすめ本」を教室に展示すると、その本を読んでみようとするんじゃないかな。



話し合いの際に、**考えをより明確にする**ためには、集めた**情報と情報**を**関係付ける**など、図で整理すると分かりやすくなります。



算数の問題

出題の趣旨 目的に応じて適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え判断し、その判断の理由を表現する。

1

あいりさんたちは、2026 年度からブロッコリーが指定野菜に追加されることをニュースで知り、指定野菜について調べることにしました。

- (2) あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013 年と 2023 年について、右のグラフ 2 とグラフ 3 を見つけました。



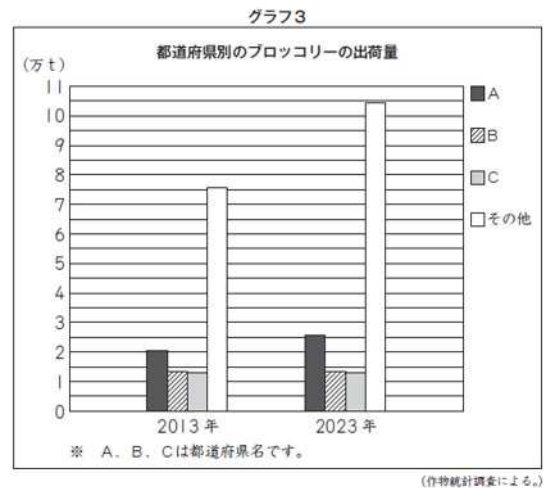
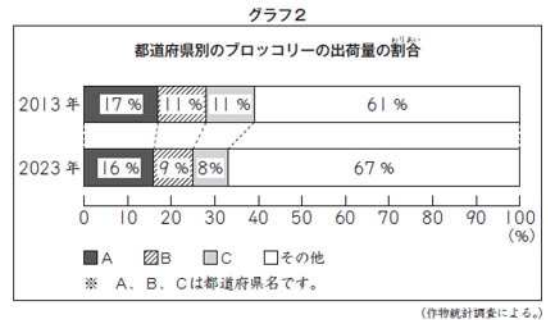
グラフ 2 とグラフ 3 を見つけたけれど、どちらか 1 つのグラフを見れば、都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかわかります。

2023 年の都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、2013 年より増えたかどうかを、下の ア と イ から選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかわかるようにしましょう。

ア 2023 年は 2013 年より増えた。

イ 2023 年は 2013 年より減った。

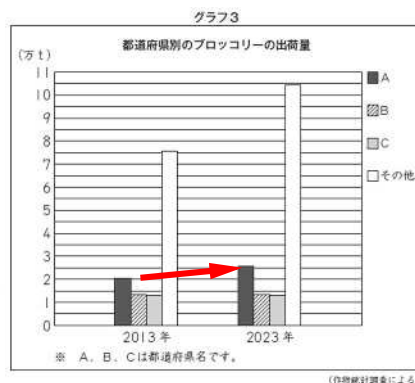
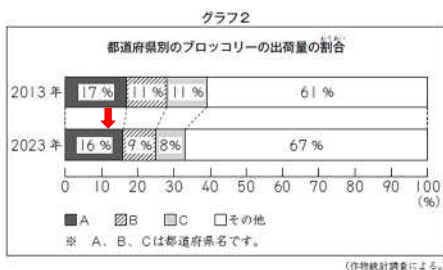


<問題の概要>

都道府県 A のブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、その理由を書く問題

子どもたちは、この問いを次のように解決していきます。

グラフ 2 とグラフ 3 を見つけたけれど、どちらか 1 つのグラフを見れば、都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかわかります。



文章と資料を併せて見よう。都道府県 A のブロッコリーの出荷量の変化を表したグラフは「グラフ 3」だね。

【思考スキル】
関係づける



2023 年の都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、2013 年より増えたかどうかを、下の ア と イ から選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかわかるようにしましょう。

ア 2023 年は 2013 年より増えた。

イ 2023 年は 2013 年より減った。

「グラフ 3」の 2013 年と 2023 年の都道府県 A を比べると、0.5t 増えていることが分かるから、「ア」なんだね。



【思考スキル】
理由づける



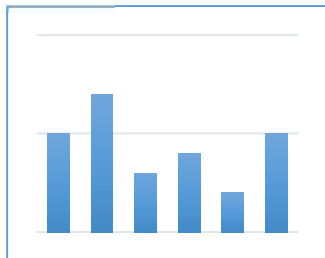
～ 小学校5年生 帯グラフと円グラフ 学習のしあげ ～

東京書籍「続編新しい算数」5年(下)P.90



先生

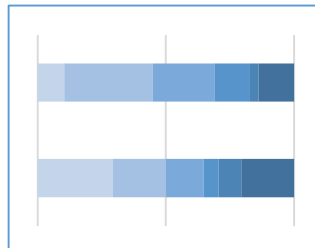
調べたいことを1つ決め、グラフを使って分かりやすく説明しよう。



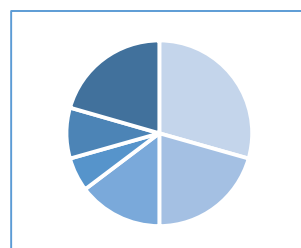
棒グラフ



折れ線グラフ



帯グラフ

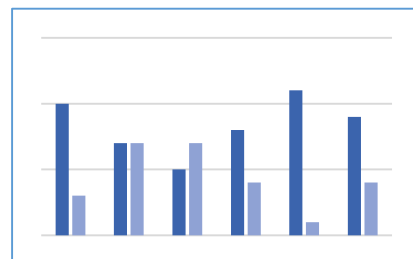


円グラフ

みんなの好きな教科が1番気になるから、アンケートをとってグラフにしてみようかな。
5年生と6年生の好きな教科を調べて、どちらの学年が、算数が好きな人が多いか知りたいよ。



5年生は20人、6年生は35人だよ。
棒グラフをみると、算数が好きな児童は、
5年生が7人、6年生は12人だったから、
6年生の方が算数を好きな人が多いね。



…あれ？
学年全体の人数が違うのに、このグラフはだめだと思ふな。

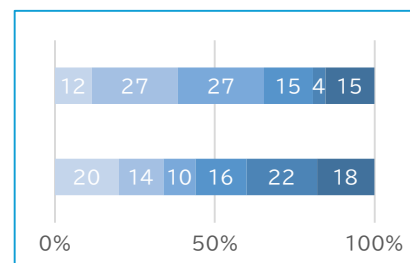
【思考スキル】
関係づける



帯グラフにしてみると、5年生は35%、6年生は34.2%
だったからやっぱり5年生の方が多い。
割合で考える必要があったね。

【思考スキル】

理由づける

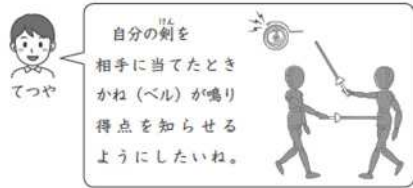


グラフを扱うときは、目的に応じてどのようなグラフを選択して伝えたいことを説明するのが、理由も併せて考えさせることが大切になります。

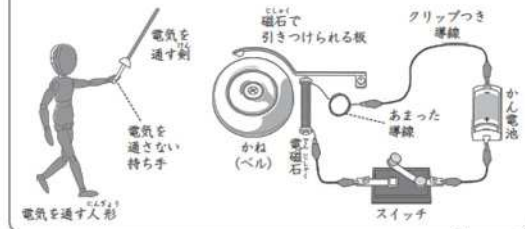
出題の趣旨 電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる。

小学校理科の問題

てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話しています。



これらの物を使ってつくことはできないかな。



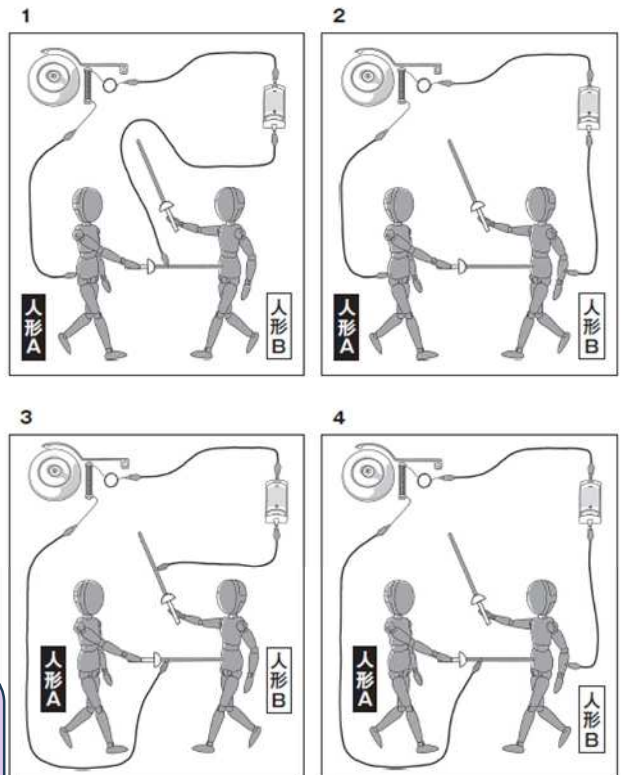
てつやさん: 電気を通す剣や磁石で引きつけられる板を、アルミニウム、鉄、銅のどれでつくろうかな。

いおりさん

<問題の概要>

電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶことができるかを問う問題

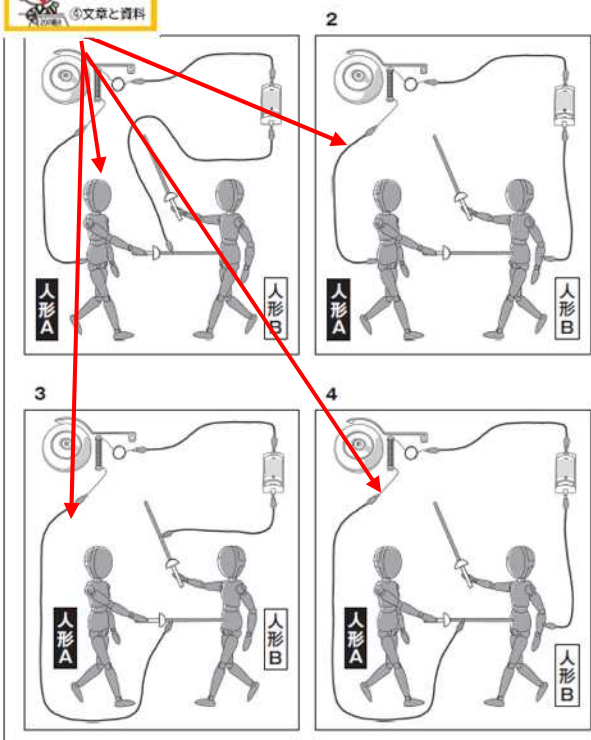
(2) 「人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、かね（ベル）が鳴る」のは、どのような回路でしょうか。下の 1 から 4 までのの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



(2) 「人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、かね（ベル）が鳴る」のは、どのような回路でしょうか。下の 1 から 4 までのの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



④文章と資料



子どもたちは、この問いを次のように解決していきます

4つの図を比べた(比較した)ときに、何が違うのかな？ 人形には電流が流れるんだよね？



【思考スキル】
比較する



人形の持ち手には電気を通さないと書いてあるよ！
電気を通すには回路がつながっていることが必要だから、答えは4だね！



【思考スキル】
関連づける

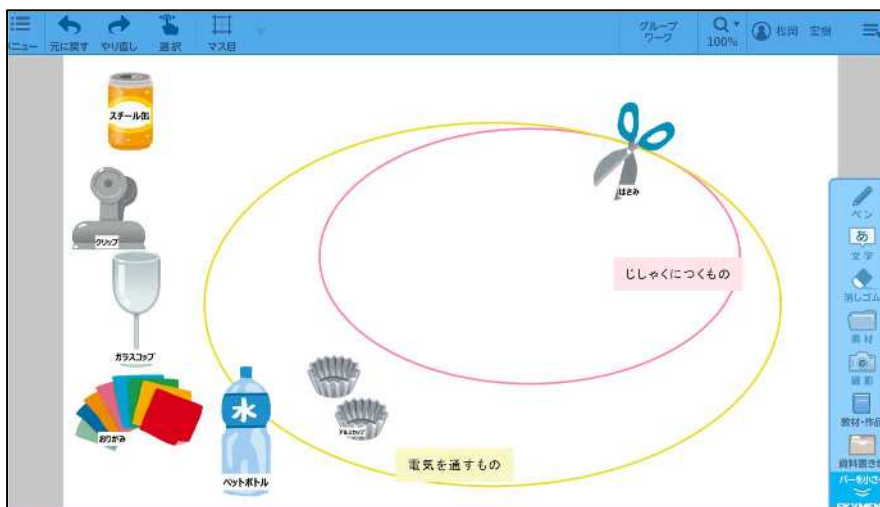


～「これまでの学習をつなげよう 電気を通すもの・じしゃくにつくもの」～
 啓林館「わくわく理科」3年P.148

★思考ツール「ベン図」を提示して、それぞれの「もの」をどこに配置させたらよいかを考えさせる



これまでに勉強したことを使って、7つの「もの」が「ベン図」のどこに当てはまるか、わけてみよう！
 悩むときは、道具を使って確かめてみよう。



【思考スキル】
比較する

ほかの「もの」と比べると、たしか、クリップは、電気も通ったし、じしゃくにもついたよ！

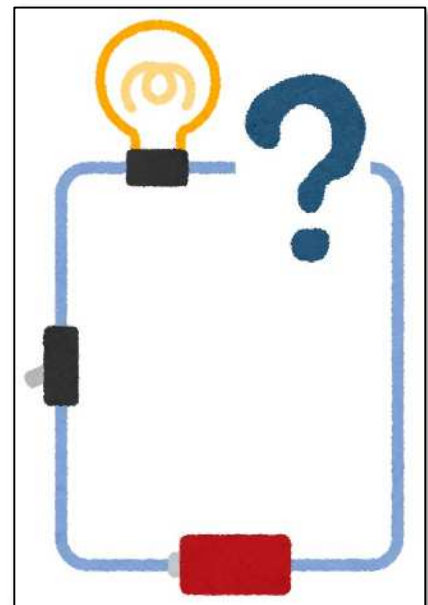


じしゃくにつくものの性質と、電気を通すものの性質を思い出してみよう。コップはガラスだからじしゃくにはつかないよね？
 アルミカップはどうなんだろう？
 はさみは、材料がちがう部分があるから…？

【思考スキル】
関連づける



実験して、確かめてみよう！
 前の実験方法を思い出して、回路を作って調べてみたらわかると思うよ。



実験をして、知識を得る⇒得た知識を使って、別の課題を考える⇒考えた中で出てきた疑問は、また実験をして確かめる…。くりかえすことで、「実験の方法を発想」し、「表現する」ことができるようになります。



出題の趣旨 目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができかどうかをみる

【ちらし】

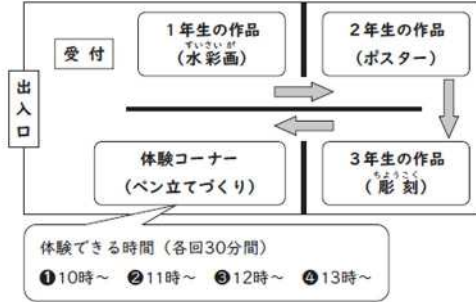
第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
 私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいいしんの出来です。
 今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。
 体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

日時 令和7年11月15日（土） 10時～16時

場所 第一中学校 体育館

会場図



- 1 第一中学校では、毎年、美術の時間につくった作品を展示する美術展を行っています。今年は、昨年の美術展に会場した小学生の感想をもとに、内容を工夫して開催します。実行委員の中井さんは、地域の小学校6年生に向けて、来場を促すためのちらしを作成することになりました。次は、中井さんが参考にした【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】と、文書作成ソフトを用いて作成している【ちらし】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

二 中井さんは、【ちらし】に、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】には示されていない「会場図」を加えました。どのような目的で加えたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 小学校6年生に向けたちらしであることを示すため。
- 2 ウェブページの情報と比較しやすくするため。
- 3 会場となる体育館まで迷わずに来てもらうため。
- 4 展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため。

<問題の概要>

ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものと、適切なものを選択する問題。

子どもたちは、この問いを次のように解決していきます。

【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】

第一中学校

ホーム 学校紹介 行事予定 学校生活 保護者の方へ

行事のご案内

更新日 令和7年10月3日

美術展の開催のお知らせ

秋の恒例となった「第一中学校 美術展」を開催いたします。各学年の生徒たちは、美術展に向けて作品づくりに励んでおります。ご多忙とは存じますが、生徒たちの力作をご覧いただければ幸いです。ご来校をお待ちしております。

◆開催日時
令和7年11月15日（土） 10時～16時

◆開催場所
第一中学校 体育館

【ちらし】の目的は、地域の小学校6年生に向けて、来場を促すことだね。

「第一中学校のウェブページ上のお知らせ」と「ちらし」を比較してみよう。



【ちらし】

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
 私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいいしんの出来です。
 今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。
 体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

日時 令和7年11月15日（土） 10時～16時

場所 第一中学校 体育館

会場図

体験できる時間（各回30分間）
 ①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～

「ちらし」に会場図があることで、体育館の中の展示作品と体験コーナーの配置がどうなっているかが一目でわかるようになっているよ。だから、4となるね。

【思考スキル】

具体化する



～ 中学校 1 年「項目を立てて書こう 案内文を書く」より ～

光村図書 国語1年 P.116～



先生

この日は、同じ校区の小学6年生が中学校見学もかねて、合唱祭に来ます。6年生に合唱祭の案内を送る場合は、どのように書けばよいでしょうか。6年生に合唱祭が楽しみだと思ってもらえるような案内文にしましょう。



「地域の皆様」の案内文を参考に比較しながら読むと、「6年生のみなさん」の案内文は の部分を6年生向けに変えた方がよさそうだな。



案内文の対象である6年生がどんなことを知りたいか…。担任の先生と一緒に来るなら、校舎配置図よりも、どんな曲を歌うかが分かっている方が合唱祭が楽しみになりそうだ。それを具体化すると…



〇〇年 9 月 3 日

地域の皆様

東中学校合唱祭実行委員会

第 20 回 東中学校合唱祭のご案内

新秋の候、皆様、いかがお過ごしでしょうか。
さて、このたび、第 20 回東中学校合唱祭を下記のとおり開催します。どうぞお誘い合わせのうえ、お越しく下さい。

記

- 日時 9 月 24 日 (金) 9:00 開場
11:45 終了予定
- 場所 東中学校体育館
- 当日の流れ

9:30 ~ 9:45	開会式
9:45 ~ 10:15	1 年生発表
10:15 ~ 10:45	2 年生発表
10:45 ~ 11:00	休憩
11:00 ~ 11:30	3 年生発表
11:30 ~ 11:40	閉会式

4. オンライン配信について
合唱祭当日に、オンラインで発表の様子を配信します。
詳しくは、本校公式ウェブサイトをご覧ください。
本校公式ウェブサイト <https://www...>

- その他
 - ・当日は、東門からお入りください。
 - ・スリッパなどをご用意ください。
 - ・駐車場がありませんので、車での来校はおひかえください。

以上

〇〇年 9 月 3 日

東小学校 6 年生のみなさん

東中学校合唱祭実行委員会

第 20 回 東中学校合唱祭のご案内

日中は夏と変わらない暑い日が続きますが、日が落ちるのが少しずつ早くなり、秋を感じます。

さて、このたび、第 20 回東中学校合唱祭を下記のとおり開催します。合唱祭では各学年が様々な曲を歌います。楽しみに来てください。

記

- 日時 9 月 24 日 (金) 9:00 開場
11:45 終了予定
- 場所 東中学校体育館
- 当日の流れ

9:30 ~ 9:45	開会式
9:45 ~ 10:15	1 年生発表
10:15 ~ 10:45	2 年生発表
10:45 ~ 11:00	休憩
11:00 ~ 11:30	3 年生発表
11:30 ~ 11:40	閉会式

合唱曲

1-1 「〇〇〇〇」

1-2 「△の△△」

1-3 「□の歌」

2-1 「◇◇◇◇」

…

- その他
 - ・ 上ぐつ をご用意ください。
 - ・ 〇〇〇…

以上



文章を書くときは、**目的(相手)**に応じて、集めた材料を**整理**し、伝えたいことが明確になるように**具体化**することが大切です。

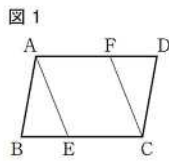
学習の中で、学校行事等の案内を実際に書いてみるなど、つけた力を活用できる場面を設定してみましょう。

数学の問題

出題の趣旨 統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる。

- ⑨ 右の図1のように、平行四辺形ABCDの辺BC、DA上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをそれぞれとります。

このとき、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、次のように証明できます。



証明 1

平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、

$$AD \parallel BC$$

よって、 $AF \parallel EC$ ①

平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、

$$AD = BC$$

仮定より、

$$DF = BE$$

②、③より、

$$AD - DF = BC - BE$$

④より、

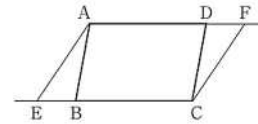
$$AF = EC$$

①、⑤より、

1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、四角形AECFは平行四辺形である。

- (2) 次の図2のように、平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをそれぞれとって、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、前ページの証明1の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を、下のアからオまでの中から1つ選び、正しく書き直しなさい。

図2



ア

平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、

$$AD \parallel BC$$

よって、 $AF \parallel EC$ ①

イ

平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、

$$AD = BC$$

ウ

仮定より、

$$DF = BE$$

エ

②、③より、

$$AD - DF = BC - BE$$

オ

④より、

$$AF = EC$$

①、⑤より、

1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、四角形AECFは平行四辺形である。

<問題の概要>

平行四辺形 ABCD の辺 CB、AD を延長した直線上に $BE=DF$ となる点 E、F を取っても、四角形 AECF は平行四辺形となることの証明を完成する問題

子どもたちは、この問いを次のように解決していきます。

- (2) 次の図2のように、平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをそれぞれとって、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、前ページの証明1の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を、下のアからオまでの中から1つ選び、正しく書き直しなさい。

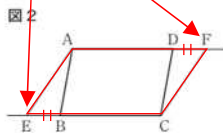
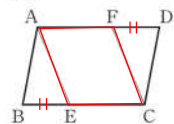


図1



- ア 平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、
 $AD \parallel BC$
よって、 $AF \parallel EC$ ①
- イ 平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、
 $AD = BC$ ②
- ウ 仮定より、
 $DF = BE$ ③
- エ ②、③より、
 $AD - DF = BC - BE$ ④
- オ ④より、
 $AF = EC$ ⑤
- ①、⑤より、
1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、
四角形AECFは平行四辺形である。

文章を図に表すとわかりやすくなるね。



変わったところを、文章と図と式を関係づけて考えるとわかるよ。

【思考スキル】
関係づける



「エ」の式の引き算を、足し算に変えたら証明が完成するね。

【思考スキル】
評価する



～ 中学校 2 年生 図形の性質と証明 ～

啓林館「未来へひろがる数学」2 年 P. 147

平行四辺形 ABCD で、図1のように対角線 AC 上に $AE = CF$ となる点 E、F をとるとき、 $BE = DF$ であることを次のように証明した。

図1

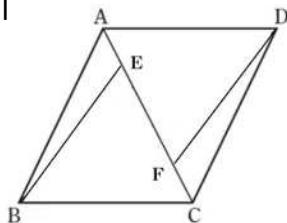
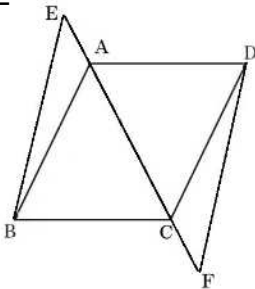


図2



(証明)

$\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ で、

仮定より、 $AE = CF$ ……①

平行四辺形の向かいあう辺は等しいので、

$AB = CD$ ……②

平行線の錯角は等しいので、 $AB \parallel DC$ から、

$\angle BAE = \angle DCF$ ……③

①、②、③から、2 組の辺とその間の角が、それぞれ等しいので、

$\triangle ABE \equiv \triangle CDF$

合同な図形では、対応する辺は等しいので

$BE = DF$



I
II
III
IV

「対角線 AC 上」を「直線 AC 上」に変えて、図2のように点 E、F をとった場合、上の証明はそのまま成り立つでしょうか。



まずは、文章・式・図を関係づけて考えるために、図2に分かっていることを整理してみよう。



【思考スキル】
関係づける



Ⅲが成り立つと言えれば、図1のときと同じように証明できそうだね。



平行線の錯角は等しいので、 $AB \parallel DC$ から、

$\angle BAE = \angle DCF$ ……③

III

【思考スキル】
評価する



ここにどんな言葉や式を入れるといいのかな。



条件を変えた場合について、共通点・相違点に着目し、問題解決の過程を振り返りながら、解決方法を考えます。

このように問題解決の過程を評価・改善することで、論理的に説明する力を育成します。



出題の趣旨 【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できる。

中学校理科の問題

2

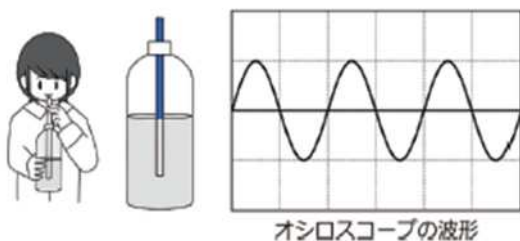
理科の授業で、ストローと水の入っているペットボトルで楽器をつくり、音について科学的に探究しています。

(1)、(2)の各問いに答えなさい。

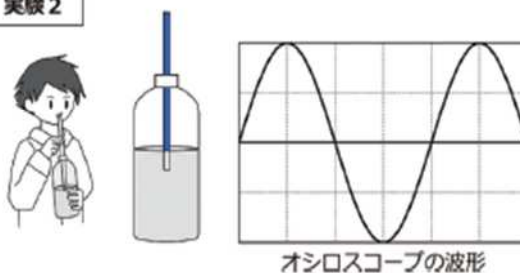


【実験】「ストロー内の空気が入る長さ（ の部分）」を変えて実験を行ったときのオシロスコープの波形を観察しました。

実験1



実験2



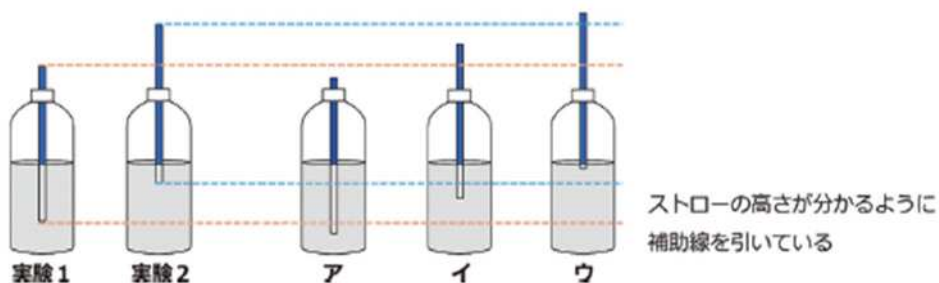
右のように【考察】しました。

【考察】

「ストロー内の空気が入る長さ（ の部分）」が、長くなるにつれて、音はだんだん低くなる。



【考察】をより確かなものにするためには、あと1つ実験を行うとよいですね。
次のア、イ、ウのどれで実験を行えばよいのかな。



(1)

下線部について、【考察】をより確かなものにするために1つ実験を追加するとしたら、上のア、イ、ウのうち、あなたはどの実験を選びますか、**1**つ選びなさい。

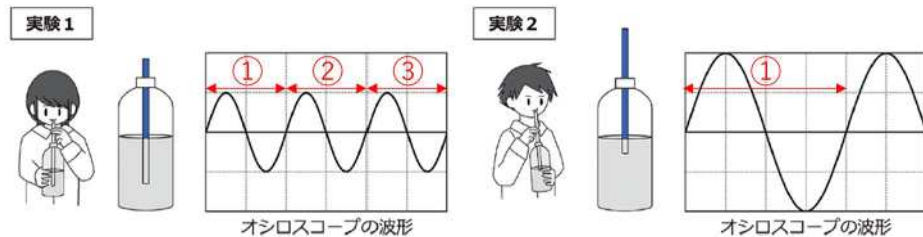
上のア、イ、ウのどの実験を選んでかまいません。

また、上で選んだ実験を行ったときに、オシロスコープの波形から何が分かればよいのか、**振動数**という言葉を使って書きなさい。

<問題の概要>

【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を書く問題

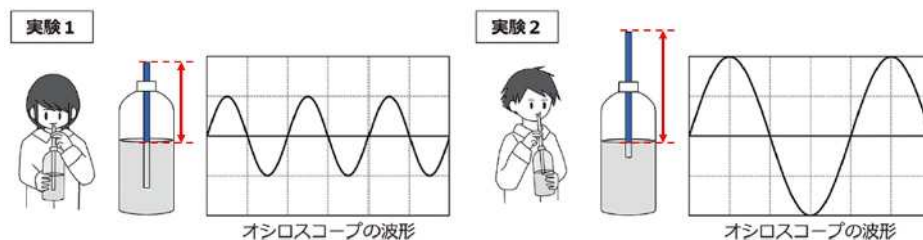
子どもたちは、この問いを次のように解決していきます。



【思考スキル】

関連づける

ストローの空気の入る長さ、音の高さ、オシロスコープの波形(振動数)の関係を調べるんだね。

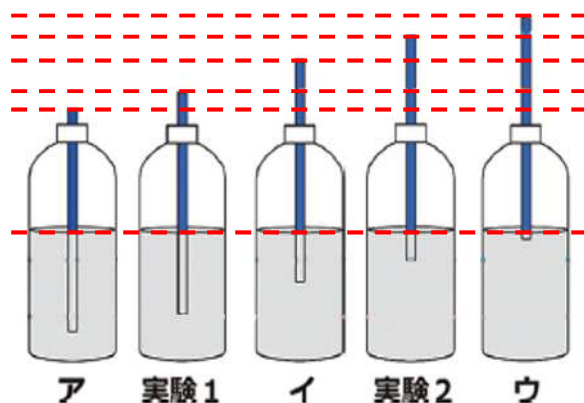


ストロー内の空気が入る長さを比較してみよう。実験2の方が長いね。

【考察】

「ストロー内の空気が入る長さ (■の部分)」が、長くなるにつれて、音はだんだん低くなる。

分かったことを整理すると、【考察】にあるようにストロー内の空気が入る長さ、音の高さには因果関係がありそうだなあ。



実験1・実験2・ア・イ・ウのストロー内の空気が入る長さを比較してみよう。短い方から順に並べると、ア・実験1・イ・実験2・ウになるね。

ということは【考察】から音の高い方からア・実験1・イ・実験2・ウの順になりそうだね。

アは、最もストローの空気の入る長さが短いから、振動数は多くなるね。

【思考スキル】

推論する

イならば実験1と実験2の間だ。ウならば振動数は少なくなるよ。

～ 身のまわりのものから発生する気体の授業づくり ～

啓林館「未来へひろがるサイエンス」1年 P. 159

発砲入浴剤



発生した気体が何かつきとめてみよう！ただし、これまでに習った気体のどれかだよ。

発生する気体が何かどうやって調べようかなあ…

これまでに習った気体の集め方や性質をもとに実験を計画してみよう！

【思考スキル】

関連づける

そういや気体を集める方法が3つあったなあ…水上置換法ができるかできないかで何の気体が絞り込めるかもなあ…

水上置換法で気体が集められたら、習った中では無臭の気体ばかりだから、無臭であることの確認もしたいね。

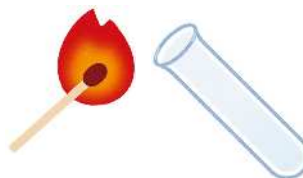
【思考スキル】

推論する

気体が「水素」と断定する方法って何があるかなあ…

前、試験管に集めた水素にマッチの火を近づけたら音を立てて燃えたね。集めた気体にマッチの火を近づけてみようか。

そういえば、線香の火を試験管に集めた気体に入れたこともあったね。あれは確か酸素だったかな。それもやってみよう！



実験の計画を立てるときに、「何となく実験をやってみる」ではなく、
「その操作をすることでどのような結果が得られるか」の予想を立てた上で実験を行う等、
どのような方法で課題解決に向けた結果を得るのかを計画する機会を多く設けていくことが大切です。



読解力を育む「20の観点」 【小学校版】

作成：四日市市教育委員会指導課

監修：三重大学教育学部教授 守田 庸一

※ここでいう読解力とは主に説明的な文章（教科書・新聞・パンフレット・ポスター・解説書など）の読み取りを意味しています。

※◎になっている学年は、重点的に学習する学年です。○になっている学年でも、くり返し学習してください。

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	主語と述語の関係を理解する	◎	◎	○	○	○	○
2	共通・相違の関係を理解する	◎	◎	○	○	○	○
3	題名や見出しとその役割を理解する	○	◎	○	○	○	○
4	文章と資料（写真やイラスト等）を合わせて読める	◎	○	○	○	○	○
5	問いと答えの関係を理解する	◎	○	○	○	○	○
6	事柄の順序（時間、作業手順、優先度など）を理解する	◎	◎	○	○	○	○
7	修飾と被修飾の関係を理解する			◎	◎	○	○
8	指示する語句や接続する語句の役割を理解する			◎	◎	○	○
9	形式段落・意味段落の役割について理解する		○	◎	◎	○	○
10	文章構成（序論・本論・結論など）を理解する		○	◎	◎	○	○
11	形式段落等の要点をとらえる（抽象と具体）			◎	○	○	○
12	考えとそれを支える理由や事例等の関係を理解する（因果関係）	○	○	◎	◎	○	○
13	比較（対比・類比）や分類の仕方を理解する		○	◎	◎	○	○
14	目的を意識して、内容の中心となる語や文を選んで文章を要約する（抽象と具体）			◎	◎	○	○
15	様々な表現の技法を理解する（比喩や反復、倒置等）	○	○	○	○	○	◎
16	思考に関わる語句（しかし、つまり、例えば等）を理解する				○	◎	○
17	文章全体の構成を捉え、要旨を把握する（事実と感想、意見などとの関係）				○	◎	◎
18	文章と資料（図表やグラフ等）の関係を理解する			○	○	◎	◎
19	論の進め方等、筆者の意図を考える			○	○	◎	◎
20	文章の種類や特徴を理解する（紹介、提案、推薦、案内、解説等）				○	◎	◎

〈四日市版〉

読解力を育む「20の観点」〔中学校版〕

作成：四日市市教育委員会指導課

監修：三重大学教育学部教授 守田 庸一

※ここでの読解力とは主に説明的な文章（教科書・新聞・パンフレット・解説書・評論文・解説文など）の読み取りを意味しています。

※「読むこと」の力を育成するためには、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」と関連させて指導してください。

※色が濃くなっている学年は、重点的に育成する学年です。それ以外の学年でも、実態に合わせて系統的・継続的に指導してください。

		1年	2年	3年
1	段落ごとの内容や段落相互の関係を捉える			
2	筆者の意見と事実との関係を理解する			
3	要旨を捉える			
4	目的に応じて必要な情報に着目して要約する			
5	文章の構成や展開の効果等について考える			
6	比較（対比・類比）や分類の仕方を理解する			
7	筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する			
8	原因と結果の関係を理解して理解する（因果関係）			
9	文章全体と部分の関係に着目して読む			
10	文章と図表などを結び付けながら、筆者の主張をより正確に理解する			
11	文章の構成や論理の展開について理解する			
12	表現の効果について理解する			
13	根拠に説得力があるかどうかを吟味する			
14	文章の構成における具体と抽象の関係を理解する			
15	主張と根拠との関係等、内容を吟味しながら読む			
16	文章の構成や論理の展開が分かりやすく適切なものであるか、評価して読む			
17	筆者のものの見方や考えの進め方等を捉え、文章の内容を正確に理解する			
18	情報の信頼性を確かめながら読む			
19	具体と抽象の関係を捉えて読む			
20	文章の種類とその特徴について理解する（意見文、感想文、記録文、報告文、解説文等）			

「考える」を具体的に表した言葉『思考スキル』

【思考スキル一覧】

思考スキル	定義	思考スキル	定義
多面的にみる	多様な視点や観点にたって対象を見る	抽象化する	事例からきまりや包括的な概念をつくる
変化をとらえる	視点を定めて前後の違いをとらえる	焦点化する	重点を定め、注目する対象を決める
順序立てる	視点も基づいて対象を並び替える	評価する	視点や観点をもち根拠に基づいて対象への意見をもつ
比較する	対象の相違点、共通点を見つける	応用する	既習事項を用いて課題・問題を解決する
分類する	属性に従って複数のものをまとまりに分ける	構造化する	順序や筋道をもとに部分同士を関係づける
変換する	表現の形式(文・図・絵など)を変える	推論する	根拠にもとづいて先や結果を予想する
関係づける	学習事項同士のつながりを示す	具体化する	学習事項に対応した具体例を示す
関連づける	学習事項と実体験・経験のつながりを示す	広げてみる	物事についての意味やイメージ等を広げる
理由づける	意見や判断の理由を示す	要約する	必要な情報に絞って情報を単純・簡単にする
見通す	自らの行為の影響を想定し、適切なものを選択する。		

《参考》

R7 年度 四日市市 質問紙調査データ

(小学校)		(中学校)	
児童質問紙調査	学校質問紙調査	生徒質問紙調査	学校質問紙調査
			